



経営学部

■ 国際経営学科



地域社会や人々の幸せを支える税理士になりたい。

■ 経営学科

取得学位	学士(経営学)
アドミッション・ポリシー	<p>立命館大学経営学部は、学部の教育目標を達成するために、以下の能力・資質を有するものを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経営学に強い関心を持ち、高い意欲と目的意識を持って学習を行おうとしている 2 学部の掲げる人材育成目的・教育目標を理解し、経営学部での勉学を強く志望している 3 広く高等学校卒業レベルの基礎学力を有している 4 大学での学びに必要な日本語運用能力を有している <p>また、各分野あるいは将来の進路に関わって、下記のような人材をより積極的に求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 経営学分野における高度な専門的能力を獲得し、戦略、マーケティング、組織、会計・ファイナンスの各分野で活躍をめざしている 6 会計分野における高度な専門的能力および関連する資格の獲得をめざしている 7 将来、広い意味での起業家(アントレプレナー)や事業の継承(承継)をめざしている 8 高い外国語運用能力を獲得し、将来、広く国際ビジネスの分野において活躍をめざしている 9 アジアビジネスに興味を持ち、将来、アジアを舞台に活躍をめざしている

ビジネスを発見し、ビジネスを創造する経営学

立命館大学経営学部は、1962年に創設、1996年には、「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する経営学」という学部理念を確立し、ビジネスの視点から社会的課題を発見し、創造的な問題解決を目指す経営学の研究と教育を進めてきました。その特徴は、社会生活で実際に役立つ「実学」を提供していることです。特に今日は、貧困や労働に関わる問題、SDGs(持続可能な開発目標)の観点からの社会的課題の解決や、ソーシャルビジネスも重視しています。

2006年に国際経営学科を開設してからは、将来的なグローバル人材(グローバルキャリア)としての活躍を目指し、異文化・多文化の理解や国内外の学生が日本と海外で学びあう教育の国際化、学部独自の留学プログラムや英語開講専門科目の提供によって「英語で国際的な経営を学ぶ」機会を提供しています。2015年には、外国語やインテンシブプログラムを充実させるとともに、小集団教育を中心に据えて大阪いばらきキャンパス(OIC)に移転しました。

2026年からは、学内外の変化を踏まえて新たなカリキュラムが始まります。デジタルテクノロジーをはじめとしたデータサイエンス分野への教学の新展開を行うとともに、デザインマネジメント系の科目を拡充します。徹底した小集団教育を通じて、主体的にグローバルな企業社会の問題発見・解決能力を磨くカリキュラムへと精緻化し、卒業論文を集大成とする学びの体系を明確にしました。さらに国際経営学科では、1回生から段階的に英語で国際経営を理解する仕組みを構築しました。

経営学部では、大学の教學理念「平和と民主主義」と経営学部の教學理念のもとで、高い教養と経営学の専門知識を持ち、社会・経済の変化に対応して自ら考え、実践することにより未来を切り拓くチャレンジ精神に満ち、高い倫理観とグローバルな視野で異文化を相互に理解し尊重する人材の育成を目指しています。



STUDENT'S VOICE

地域社会や人々の幸せを支える税理士になりたい。

経営学部を志望したのは、高校生の頃からビジネスや経済活動に広く興味を持っており、立命館大学の充実した学びの環境に魅力を感じていたからです。実際に入学し、個々の意欲に合わせた学びを幅広く、そして深く追求できる環境が整っていることを実感しました。簿記の資格取得に向けた授業をはじめ、会計のプロを目指すためのステップが整っていることや、奨学金などの支援が手厚いことも安心して学べる大切な要素です。

会計・ファイナンスコースを選択し、現在は会計学の基礎分野を中心に受講しています。日々の学びと実社会とのつながりを意識して、実務経験豊富な講師から経営や税務について学べる特殊講義も積極的に受講。知識の習得だけでなく、現場の視点を得られる大切な機会となっています。おかげで視野が広がり、物事を俯瞰で見る力がつきました。例えば、ふとした日常の現象を企業目線で捉えたり、広告戦略や損益分岐点を意識したりすることが増えています。ゼミナールでは、地方自治体のDX推進について研究しており、デジタル化の進展が今後の社会に与える影響について学びながら、グループで調査と考察を進めています。異なる意見を調整し、1つの結論を導く難しさに直面しますが、その過程にやりがいを感じています。

将来の目標は、税理士の資格を取得し、地域社会や人々の生活を支えることです。目標の実現に向けて税理士試験の勉強を続けています。大学で学んだ知識との密接なつながりを感じる瞬間も少なくありません。そのたびにいっそう理解が深まるのを実感しています。また、自コース以外の多様な分野の科目を受講することも、視野を広げるために不可欠な学びです。目の前の課題に一つひとつ取り組むことで、着実に目標に近づきたいと考えています。



高岡 千笑 さん
経営学部 経営学科 4回生
奈良県立奈良高校出身

学科紹介

経営学部では、国際経営学科と経営学科の2学科制を採り、4年間の学びをそれぞれ「学びを知る」「学びを広げる」「学びを深める」「学びをまとめる」期間と位置づけています。ビジネス環境の変化に対応できるよう、理論と実践をバランス良く修得します。経営学科では、3回生から将来の目標に合わせて専門分野を系統的に学べる4つのコースを設け、各コースの専門能力を修得します。国際経営学科では、経営学の基礎知識を備えながら、国際的な経営やビジネスを理解するための高度な外国語運用能力と国際理解力を修得します。そのために、海外留学を強く推奨しており、英語で開講される経営学科目を豊富に設けています。

国際経営学科

英語

1回生で英語の4技能のスキルを修得した上で、2回生以降は留学を目指したアカデミック英語と、グローバルビジネスでの活躍を目指したビジネス英語を学修します。

※希望者は英語に加えてドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を学ぶこともできます。



英語で経営学

1回生から段階的に英語開講科目を受講できる仕組みを提供します。2回生からは、やや易しめの英語による専門科目、3回生以上では中長期留学から帰国した水準の学生を対象とした英語開講専門科目を提供します。



国際経営

経営学分野を幅広く学びながら国際的な経営やビジネスを理解し、2回生で専門基礎科目、3回生以上では専門展開科目を受講してグローバル企業の経営に関する知識を深めます。



海外留学

経営学部独自のプログラムや全学生対象の留学プログラムに参加することで、グローバルビジネスで活躍できる異文化理解力や高度な外国語コミュニケーション能力、および国際経営の専門知識を修得し、国境を越えてビジネスの課題を発見し、創造的に問題解決する力を磨きます。



経営学科

組織コース

企業や非営利組織の形態や歴史、組織の経営管理や仕組みを理解します。リーダーシップや人材育成、中小企業や事業継承、企業倫理や環境経営など多様な学びもこのコースの特徴です。



戦略コース

企業が目標を達成するための経営戦略と、そのための手段や方法を理解します。製品の開発・生産に関わる技術経営や、事業創造に関わるアントレプレナーシップ、情報システムや経営統計についての学びもこのコースの特徴です。



マーケティングコース

企業経営において顧客ニーズを正しくつかみ、価値ある商品を創造するための「マーケティング」を体系的に学びます。また、最近注目される「観光・サービス」「デザイン・マネジメント」を学ぶことができるのも、このコースの大きな特徴です。



会計・ファイナンスコース

企業を取り巻く資金の流れとその仕組みを理解します。利害関係をもつ企業外部との取引や企業内部の管理運営、さらには金融市場と金融制度についての理解を深めます。企業に関するビッグデータの分析や経済学に基づいたモデル分析を用いた学びもこのコースの特徴です。



PICK UP 徹底した小集団教育。分野ごとに特色あるゼミナールで仲間と学びあう。

国際経営学科

永島正康特任教授ゼミナール／日本企業の国際経営を考える



日本企業の国際経営（国境を越えて、人、モノ、金、情報といった資源をいかに上手く使いこなすか）について、現場観察を通して実践的に考えます。本ゼミナールでは学生の主体性を重んじているため、具体的なスケジュールや運営方法は、全てゼミナールで話し合い、決定します。

経営学科

菊盛真衣准教授ゼミナール／マーケティングと消費者の関係を解き明かそう



ゼミナールではマーケティングと消費者行動をテーマとしており、学生たちは製品や価格、広告等のマーケティング要素が消費者の心理・行動にどんな影響を与えるのかを研究しています。消費者にまつわるさまざまな現象が「なぜ」起きたのか、その問い合わせ大切にすることを教えています。

4年間の学び



詳しくはこれら

2025年度 教員・研究テーマ一覧

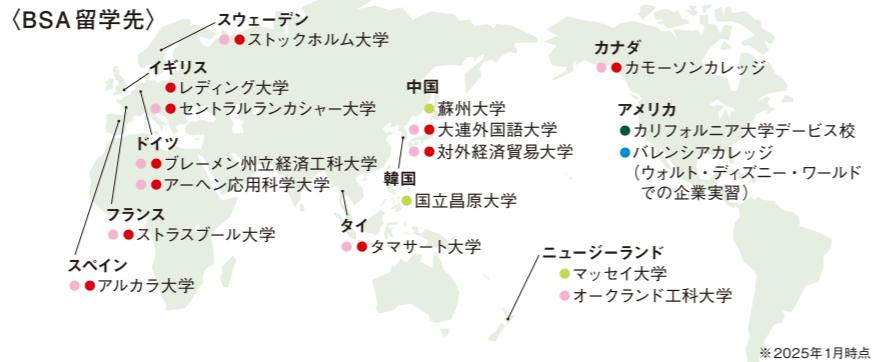
東 健太郎	企業の社会環境報告	寺崎 新一郎	人々の認知や感情、行動の背後ににある心的メカニズムを読み解く
池田 伸	新領域のマーケティング：クリエイティブ産業、デジタル化、ビジネスモデル	徳田 昭雄	「経営ストーリーリングシステム＆デザイン思考×PBL」で課題解決
石井 隆太	マーケティング戦略と流通チャネルの実証分析	中原 翔	組織の不祥事や不正企業倫理
石川 売太	韓国の経済と社会	中村 志保	顧客・社会・環境に配慮した生産活動とは
猪口 真大	新興国・途上国との金融システムおよび国際資本移動	永島 正康	日本企業の国際経営を考える
今井 まりな	新製品開発に関する研究と実践	西岡 正	構造改革期のものづくり企業・地域企業の経営を考える
林 永周	PBL（課題解決型学習）とまず動くことにより、新しい価値創造に必要な能力を身に付け、アントレプレナーになる	西谷 順平	USCPA（米国公認会計士）試験を通じた米国会計監査研究
植田 展大	地域から考える経営史	范 鶴謙	新しい市場が創られていくとき、社会や家族の規範はどのように関わるのか
大浦 啓輔	中長期的な視野で地域の産業・企業に潜在する課題を捉え、解決策を探る	日高 優一郎	FAZEKAS BALAZS 優れた企業・成功するイノベーションのための戦略的ネットワーク構築を考える
金森 純里	管理会計システムと会計情報の有用性	何 グエル	新興国（特にアジア）発の多国籍企業、国際経営における非市場戦略
菊盛 真衣	日本企業の財務諸表分析	堀井 恒志	管理会計からみた経営実践の理解
岸田 未来	マーケティングと消費者行動における理論と実証	松浦 総一	会計・経営のデータ分析
木下 明浩	国際比較から考える日本企業での働き方	三谷 英貴	コボレートファイナンス（コボレートガバナンス、ESG）
桐畠 哲也	木下 明浩 環境変化の中での顧客価値創造	宮田 幸子	途上国・新興国（主にアジア）におけるビジネス・経済活動の実証分析
金 昌柱	「クリエイティブ・マーケティング」はどのように企業の成長エンジンを加速させるのか？	守 房政	新しいビジネスの在り方から国際マーケティングを学ぶ
黒木 正樹	黒木 正樹 アントレプレナー（起業家）とイノベーション	守屋 貴司	アジアの新興市場をめぐらす企業の国際経営戦略
久保田 典男	中小企業の経営について現場から学ぶ	現代社会の「働き方」「働きかせ方」に関する研究一就活PBLと事業継承教育一	アジアの新興市場におけるビジネス・経済活動の実証分析
小久保 みどり	一中小企業の経営課題を把握し事業展開の方策を考える	森 祐介	新しいビジネスの在り方から国際マーケティングを学ぶ
小島 愛	変動する企業組織と働く人々の心理と行動	森 純	アジアの新興市場をめぐらす企業の国際経営戦略
後藤 智	少子高齢化時代における公共・非営利セクターの貢献	八重川 文	「メディアをデザインすること」で何ができるか：現代社会の諸問題に挑み、経営学におけるメディアデザインの有用性を明らかにする
小林 磨美	デザイン的思考と組織開発	山崎 敏夫	企業経営の国際比較研究－日本とドイツの戦後を読み解く－
近藤 宏一	小林 磨美 コーポレートガバナンスとコーポレートファイナンス	山崎 文徳	技術経営の視点からビジネスや社会の課題にアプローチする
吳 蠟	サービス・マネジメントの基礎理論と応用	横田 明紀	情報システムまたは情報と企業および社会
佐藤 典司	財務報告書で読み解く国際経営	善本 哲夫	実験経営学：科学技術イノベーションの社会的付加価値化
佐野 宏樹	デザインによるブランドづくり	依田 純一	顧客価値を創造するビジネスシステム（ビジネスモデル）の研究
ソリンガ	国際的な資源管理、中小企業の国際化	RAUPACH Sumiya Joerg	Strategic Sustainability Management
瀧 博	会計基準・監査基準のオントロジー工学による分析	SCHLUNZE Rolf Dieter	Constructive Intercultural Management
田中 力	統計データによる地域の経営と社会の分析一衣食住を中心に地域の社会的分業を捉える一		
田中 祥司	マーケティングの視点で考えるソリューション		
谷川 智彦	組織で活動する個人に関する研究		
土橋 力也	プラットフォーム企業の競争戦略		

経営学部の特長的な学び

海外で国際経営を学ぶ 経営学部独自留学プログラム「BSA (Business Studies Abroad)」

欧米、アジア、オセアニアの大学(主にビジネススクール)でビジネスに特化して学ぶ経営学部独自の留学プログラムです。外国語のレベルや目的別に、短／中／長期の留学と、海外インターンシップの4タイプを設けています。

経営学部からの海外留学派遣者数は、全学部共通のプログラムも含め、合計234名(短期:144名、中長期:90名)と、立命館大学の中でも多くの学生がチャレンジしています(2023年度)。短期、長期のプログラムを組み合わせて複数回留学する学生もいます。



選べる4タイプ *いずれのプログラムも4年間での卒業が可能です。

●BSA I

(期間:約1ヶ月間)

主に1回生の夏期休暇に実施。海外の大学で語学や基礎的な経営学を学びながら現地企業見学などを行います。また、国際交流や異文化理解も体験できます。引率教員も同行するため、海外が初めてでも安心して参加できます。

●BSA I Plus

(期間:約1ヶ月間)

1回生から参加できるプログラムで、夏期休暇の約1ヶ月を利用して、ビジネス英語やグローバルビジネスについて英語でのディスカッションやケーススタディなどの学習を行い、専門科目を英語で理解できる能力を磨きます。

●BSA III

(期間:約6ヶ月間)

2回生から参加できるプログラムで、英語でビジネスに関する授業を受講とともに、アメリカ・フロリダ州のウォルト・ディズニー・ワールドなどの企業にて実務研修を行い、国際社会で必要とされるビジネス感覚と語学力を養います。

●BSA II ●BSA IV

(期間:1セメスター～1.5年間)

2回生から参加できるプログラムで、ビジネススクールや経営学部を有する海外の大学で経営学に関する専門科目を他言語で受講し、仕事で使える高度なコミュニケーション能力や国際経営の専門知識の修得を目指します。

グローバルに活躍できる人材を育成する4つの「インテンシブプログラム」

会計キャリアプログラム

公認会計士や税理士などへの登竜門である「日商簿記1級」合格を目指すとともに、系統的学習プログラムを通して、企業の経理・会計部門で即戦力となる技能を習得します。本プログラムにおいて、2024年度では、日商簿記1級に4名が合格しました。公認会計士試験では51名(うち、29名が経営学部の在学生・卒業生)が合格しました(全国9位、西日本4位)。



詳しくはこち
ら▶

創発系デジタル人材育成プログラム

PSSD(製品サービスシステムデザイン)を通じて、デジタル技術を活用し、付加価値のある新事業創出・起業等を担う創発系デジタル人材を育成します。企業の寄附講義などを通じて、アントレプレナーやDXの先端事例に触れる機会を多く設け、企業としての戦略と現場の課題を結びつけながら学びます。



詳しくはこち
ら▶

アジアビジネスプログラム

将来的にアジアのビジネスに精通し、新しいビジネスを発見し創造できる人材を育成します。通常の講義に加えて、東南アジアや中華圏の企業訪問を行うテクニカル・ビジッジや、韓国の大学への短期留学プログラムなどで構成されています。

アジア圏からの留学生との交流なども積極的に行っています。



産官学連携事業継承教育プログラム

中小企業経営の真髄と事業継承の課題とポイントについて学びます。同時に、立命館大学経営学部事業継承塾を開講し、春学期は、自分と家業との関係を知る自分史コンテストと今の中企業経営の切迫する課題解決にチームで挑む中小企業経営課題解決コンテストを実施します。



詳しくはこち
ら▶

卒業生からのメッセージ

グローバルな視点を磨き

世界屈指のプロダクト戦略を担いたい。

清涼飲料の販売を担う部門に勤務し、現在は全国規模の広域ドラッグストアを担当しています。取引先の飲料売上を最大化するべく、既存商品や新商品の販売拡大に加え、アプリ連動型のデジタル施策や地域限定商品の展開にも取り組んでいます。人々の生活に欠かせない飲料を扱い、より良い商品体験を提供できることがやりがいの一つです。在学中は、広告論のセミナーに所属し、CMやメディアについて学びました。この経験は現在のデジタル施策や商品展開のプランニングで役立っています。また、自由な校風の中で多様な価値観に触れたことが、柔軟な発想やコミュニケーション力の基盤となりました。将来は海外で経験を積み、世界で評価される商品戦略に挑戦したいと考えています。大学生活での学びはかけがえのない財産です。自分だけの目標を見つけて挑戦してください。

2018年、経営学部経営学科に入学。2022年4月、サントリーホールディングス株式会社に入社。9月にサントリーフーズ株式会社 首都圏営業本部 首都圏第二支社に配属される。2024年4月に広域営業本部 戦略量販グループに配属され、「マツキヨ・ココカラ・カンパニー」を担当。「トレーニー制度」を活用し、海外拠点で実務経験を積むことが目下の目標。



浅浦 堪太 さん
サントリーフーズ株式会社 広域営業本部 戦略量販グループ
(経営学部 経営学科 2022年卒業)

経営学部

学生時代に身につけた行動力や分析力を発揮し 誰もがわくわくできる社会づくりに貢献したい。

多様な企業や組織と仕事ができるコンサルタントに興味を持ち、当社を選びました。現在は製造業のクライアントの事業転換プロジェクトに携わり、新しいビジネスを推進する上で高めるべき専門能力の定義や評価制度の設計を担当しています。立命館大学は国際経営学科や留学制度、英語での授業などグローバルな環境に魅力を感じて志望しました。ゼミナールでは経営学や経営の奥深さを知り、フランスのビジネススクールへの留学を通じて、世界に視野を広げることができました。講義や卒業論文の作成を経て培った、国内外問わず数ある情報から示唆を導く力は、現在の仕事に直結しています。「社会をよりよく／楽に／わくわくさせる仕組み作り」への興味から、クライアントとともに目の前のプロジェクトに邁進すると同時に、生涯をかけられるようなテーマを見つけるべく、現在も対話や自己探求を続けています。



羽田 茜 さん
株式会社シグマクシス インダストリーシェルバ
(経営学部 国際経営学科 2021年卒業)

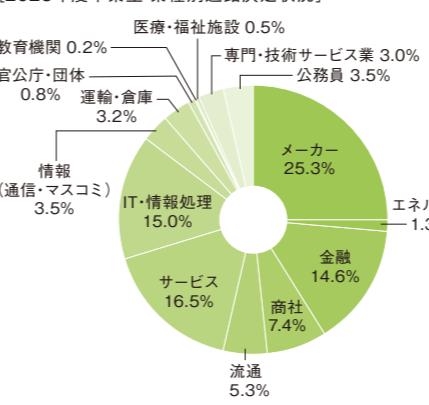
2017年、経営学部国際経営学科入学。大学時代は立命館大学応援団吹奏楽部に所属。学部の交換留学制度を利用して、2018年9月から翌年4月までストラスブル大学EMストラスブル大学ビジネススクールに留学。フランスならではのラグジュアリーマネジメントなどを学ぶ。2021年、株式会社シグマクシスに入社。インダストリーシェルバに所属。

進路・就職状況

専門知識を生かし、地方から国際社会まで多様な環境で活躍する。

学部での専門知識を生かし、新たな価値の創造ができる人材として、多くの卒業生が国際社会の幅広い分野で活躍しています。

2023年度卒業生 業種別進路決定状況



2023年度卒業生 進路・就職先一例

有限責任あささ監査法人	住友商事(株)	(50音順)
EY新日本有限責任監査法人	Zホールディングス(株)	
(株)ADKホールディングス	ANA(全日本空輸(株))	
(株)NTTデータグループ	パナソニックホールディングス(株)	
(株)NTTデータ	ソニーグループ(株)	
(株)NTT DATA, Inc	(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント	
エン・ジャパン(株)	東京海上日動火災保険(株)	
(株)キーエンス	東レ(株)	
京セラ(株)	有限責任監査法人トーマツ	
(株)京都銀行	トヨタ自動車(株)	
(株)サイバーエージェント	西日本旅客鉄道(株)	
サントリーホールディングス(株)	日本銀行	
(株)JTB	(株)日本政策金融公庫	
	地方公務員一般職(厚生労働省)	
	地方公務員(上級職)	

○円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。○端数処理の関係で100%にならない場合があります。



政策科学部

■ 政策科学科

政策科学専攻

Community and Regional Policy Studies 専攻 英語・9月

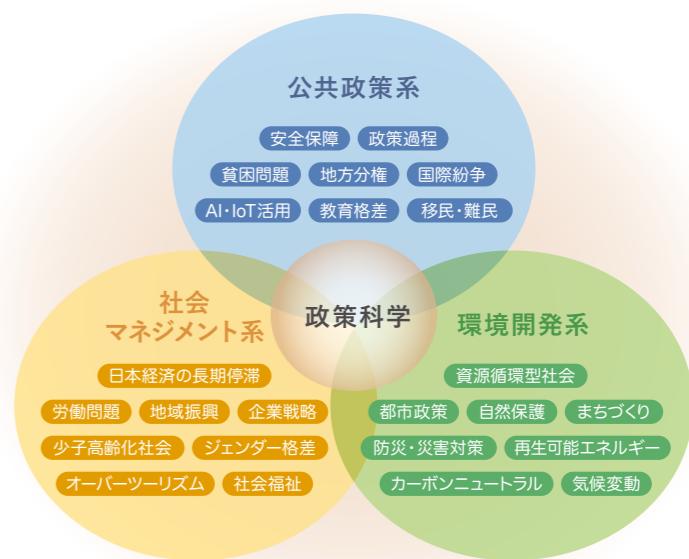


21世紀を生きる新しい学問 それが政策科学

政策科学部は1994年に設立されました。現在国内の政策系学部・学科・専攻は80以上ありますが、「政策科学部」と称するのは立命館大学のみです。なぜ政策科学という名にこだわるのか?それは、政策科学という新しい学問を探究していくからです。

人文・社会・自然科学を問わず、学問の世界では細分化が進んでいますが、これでは現代社会が直面する複雑な問題には対処できません。既存の学問の壁を乗り越えた視点から、問題を発見し、現状を分析し、政策を提言する力が必要になります。政策科学部では、「公共政策系」「環境開発系」「社会マネジメント系」の3つの学系を柱とする学びを展開しており、それぞれの学系を系統的・横断的に学修することで、複眼的で多角的な視野を獲得します。

また社会的に解決しなければならない課題は、国や地域を超えて、互いに関連し、影響を及ぼしています。こうした問題を解決するためには、異なる文化や価値観を理解し、国を超えた視点で問題を捉える国際的視野は不可欠です。政策科学部にはカリキュラムが全て英語で行われるCommunity and Regional Policy Studies (CRPS) 専攻が用意されており、さまざまな国や地域出身の学生たちと共に学ぶことができます。また英語以外のヨーロッパ言語とアジア言語の10言語から1言語選択して学ぶことができ、言語バリエーションを意識しないバイタリティーを身に付けます。



STUDENT'S VOICE

物事を多角的に捉え、解決策を論理的に考える力が身についた。

政治・経済・法律・社会学といった異なる分野を学際的に学び、多角的な視点で政策立案や問題解決に取り組む力を養える点に魅力を感じ、政策科学部を志望しました。

「地方財政論」では、地方行政の現状や課題について、「環境経済学」では国際的な環境政策について学び、国内外の政策や制度について知識を深めることができました。加えて、地方行政と環境政策といった異なる分野であっても、共通する課題や解決策があることに気づいたことで、知識の統合が進んでいることを実感しています。またゼミナールでは、先生や他の学生とディスカッションを行うことで、異なる考え方方に触れ、自分では気づかなかった問題点や新しい視野を得ることができます。これらの学びを通じて、単に知識をインプットするだけでなく、知識を基に自分の意見を構築する力や、物事を多角的に捉え、課題解決のためにどのようなアプローチが必要なのかを論理的に考える姿勢が身につきました。

卒業研究では、日本が長年陥っている慢性的なデフレから脱却する方法を研究しています。過去の金融財政政策を踏まえ、日本の経済がどのように後退したのかを考察した上で、日本経済を成長路線へと導く政策を立案したいと考えています。日本経済の回復と成長は、地域経済や国際協力とも密接に関わるので、研究の成果を広い分野で活かし、日本全体の発展に寄与できればとの思いで取り組んでいます。研究を進める中で培った「論理的思考力」や「課題解決力」は、民間企業において新たな事業戦略を考える場面や、企業活動を通じて社会問題を解決する取り組みにも活かすことができると言えています。今後は日本経済を成長路線へ導くという大きな目標を持ちながら、その過程で得た知識やスキルを多様な場面で発揮し、持続可能な社会の実現に貢献していきたいです。



中野 壮一郎 さん
政策科学部 政策科学科 4回生
長崎県立長崎西高校出身

学びの特色

社会の問題について深く考え、政策構想力・実践力を身に付ける

政策科学とは、社会における問題の原因を明らかにし、多様な利害関係者の立場を考慮しながら最善の解決策を提示する「問題解決型の学問」です。政策科学の研究では、問題の本質を見極め、解決策を提示することが重要です。そのため、社会科学の基礎を幅広く学び、現場で実践し、そのプロセスで得た知見と理論を交互にフィードバックして学びを深めます。また、豊かな経験と役立つスキルを駆使して研究を推進する政策実践力と、さまざまな情報を収集し大局的な視点から将来ヴィジョンを描ける政策構想力を身に付けます。

学際的な学び

さまざまなバックグラウンドを持った教員

政策科学部は、法学、政治学、経済学、経営学、福祉、環境、都市計画、工学などさまざまなバックグラウンドを持った教員で構成しています。多角的視野で問題解決へのアプローチを実践するとともに、学生の皆さんも興味関心を持ったさまざまな分野に対応できる体制となっています。



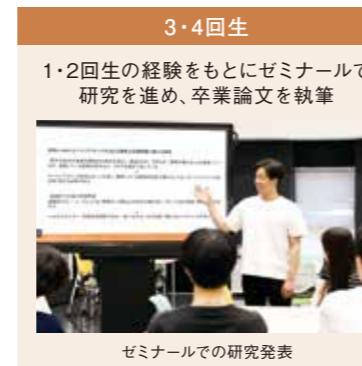
実践を通した学び

科学的な調査・分析能力を身に付けて、研究に活用する（分析技法の修得）

政策課題や政策争点の背景にある社会状況を分析したり、問題解決のために必要な政策案の効果を予測したり、過去に実施した政策の効果を測定したりするためには、科学的な分析技法や調査方法の修得が必要になります。政策科学部では、情報機器やソフトウェアの基礎的スキルはもちろん、より高度な情報処理の技法を学び、調査・研究・政策分析に活用できる力量を育成する科目を用意しています。

実践を通じて政策科学の視点を学ぶ（PBL科目）

政策科学部では、社会科学を中心とする諸分野の基礎を学び、海外を含むフィールド（現場）で実践し、そのプロセスで得た知見と理論を交互にフィードバックすることで学びを深めていく、PBL（Project / Problem-Based Learning：問題解決型学習）の学びを重視しています。



研究の成果を競い合う（PSアカデミック・フェスタ）

政策科学部では、学生が研究成果を発表する機会を豊富に設けています。中でも12月に行われる「PSアカデミック・フェスタ」では、各回生の優れた研究成果の発表やコンペティションが行われます。発表の内容はもちろん、政策を実現に導くためのプレゼンテーション能力、グループのチームワークも試され、政策科学部の一年の学びの集大成となるイベントです。



国際的な学び

Community and Regional Policy Studies (CRPS) 専攻

政策科学部では、日本語での授業を基本とする政策科学専攻と全ての授業を英語で行うCommunity and Regional Policy Studies (CRPS) 専攻があります。CRPS 専攻では、さまざまな国や地域の学生が集まり、それぞれの国や地域が抱える諸課題を共有しながら学びを深めています。政策科学専攻の学生も一定の語学基準を満たせばCRPS 専攻の科目を受講することができ、グローバル・ダイバーシティな環境を提供しています。



外国語教育（英語+10言語）

政策科学部の外国語教育は、チャレンジ精神を持ち、英語を含む複数言語を用い、世界で活躍できるグローバル人材の育成を目指しています。英語でのコミュニケーションを基礎として、現地語でコミュニケーションがとれることが重要な要素です。政策科学部では、英語で政策科学を学ぶ科目「政策英語科目 (EPS)」と英語以外の初修外国語を学ぶ科目「グローバル言語科目 (LGA)」を設置しています。EPS科目では、英語のみで授業を行う科目や、英語の専門書を講読する科目などがあります。また、LGA科目では、5つのアジア言語（中国語、朝鮮語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語）と5つのヨーロッパ言語（フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、イタリア語）から1言語選択して学ぶことができ、いずれの言語も政策実践の現場に関わる実用言語・教養言語として学びます。

海外で政策科学を学ぶ（学部独自留学・特定プロジェクト（海外））

立命館大学では全学部の学生が参加できる留学プログラムを実施していますが、政策科学部では、政策科学部生のみが参加できる学部独自の留学プログラムも実施しています。言語科目・演習科目と連動しており、言語・フィールドを積み重ねながら、政策科学を学ぶことができます。

また2回生で受講する「研究実践フォーラム」では、共通のテーマに関心を持つ学生同士で研究グループ（プロジェクト）を編成し、調査実習を行います。プロジェクトは、学生が自主的にテーマを設定した「自主プロジェクト」と、学部がテーマを提供する「特定プロジェクト」があり、特定プロジェクトには、海外をフィールドに調査を実施するものもあります。「政策英語科目 (EPS)」や「グローバル言語科目 (LGA)」で得た言語運用能力を生かし、海外での調査実習に取り組みます。



カナダプロジェクト
在カナダ日本大使館でのヒアリング



タイプロジェクト
スラム地区での調査

【交換留学（半年または1年）】

中国	東北財経大学（中国語）
タイ	マヒドン大学（英語）
韓国	国民大学校（朝鮮語、英語）、 韓国海洋大学（朝鮮語）
イタリア	ベルガモ大学（イタリア語、英語）

【2025年度実施 特定プロジェクト（海外）】

国名	キーワード
カナダ	多文化主義、国際機関、外交
タイ	経済格差、高齢化社会、住宅問題
フィリピン	貧困問題
韓国	日韓相互理解

「探究」と政策科学部

高校で必修科目となっている「総合的な学習（探究）の時間」（探究学習）は、生徒が自らの興味や関心に基づいて問題を発見し、その解決に向けて自主的に調査・研究を行う学習です。この探究学習のプロセスは、政策科学部での学びと密接に関連しています。

政策科学部では、「公共政策系」「環境開発系」「社会マネジメント系」の3つの学系を幅広く学ぶことで、複眼的で多角的な視点から、問題を発見することができます。また政策科学部では、実践を通じた学びを重視しており、学問的な知識を深めるだけでなく、実際の社会課題に取り組みながら解決策を考える経験を積みます。さらにグループワークや研究発表を通じて、論理的思考、批判的思考、多角的思考といった問題の解決に必要な力を身に付けることができます。

このように高校での探究学習で培った問題発見力と問題解決力は、政策科学部でさらに深めることができ、社会で役立つ実践的な力へと成長させることができます。

4年間の学び

回生	1回生【発見】	2回生【調査】	3回生【探究】	4回生【発信】
学びの流れ	多角的な視点を養う	フィールドワークで現場を調べる	ゼミナールで興味のあるテーマを探る	学びの成果を社会へ発信する
ヴィジョン基礎科目	災害と安全 法学基礎 I・II 比較制度 Area Studies Reading	社会思想史		
ヴィジョン展開科目	学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。→教養科目 P.130			
VB特殊講義	ヴィジョン特殊講義			
情報技術科目(IM) Information and Methods	政策情報処理 統計学 プログラミング フィールド調査法	調査分析技法入門 情報科学入門 データ分析	社会調査法 ゲーミング&シミュレーション	地域空間分析 情報技術マネジメント 地域環境調査 I・II
政策科学基礎科目(MP) Meta-policy	政治学 I・II 現代経営学入門 サステナビリティ学入門 政策工学入門 まちづくり入門	公共政策 政治過程論 マクロ経済学入門 環境科学 国際学入門	政治過程論 マクロ経済学入門	公共哲学 政治文化論
グローバル言語科目(LGA) Language for Global Actions	LGA入門	○○・基礎1 ○○・基礎2 ○○・展開1 ○○・展開2	○○で学ぶ文化・社会1 映像・CALLで学ぶ○○1 ○○・基礎2 ○○・異文化コミュニケーション1 ○○で学ぶ文化・社会2 映像・CALLで学ぶ○○2 ○○・異文化コミュニケーション2	
		※○○には、Chinese, Korean, Vietnamese, Thai, Indonesian, French, German, Spanish, Russian, Italian 各言語名称があります。 ※「○○で学ぶ文化・社会」及び「映像・CALLで学ぶ○○」は全ての語種で開講されるものではありません。		
政策科学専攻	公共政策	民法 I・II 国際規制論 比較文化論 情報社会論 グローバルガバナンス 国際学入門 Policy Science Reading I	行政法 I 日本政治史 政策評価 日本と東南アジアの地方自治体 国際公共政策 国際政治経済論	行政法 II 行政法 I・II 政治意識論 Policy Science Reading IV
政策科学科目(PLC) Policy Learning Courses	社会マネジメント	財政学 雇用政策論 非営利組織論 比較福祉社会論 国際経済学 社会保障政策 マーケティング政策論 Policy Science Reading II	公共経済学 コミュニティ福祉論 戦略経営論 都市経済論 開発経済論 金融論 経済政策 企業組織論	消費者行動論 ビジネスプラン パブリック・マネジメント論 社会的企業論 戦略分析 Policy Science Reading V
	減災政策	都市計画 都市マネジメント論 環境経済学 資源エネルギー論 コミュニティ政策論 国際環境政策 Policy Science Reading III	住宅政策論 エコライフ政策 都市景観論 地域デザイン調査 計画論 政策分析	コミュニティ防災論 システム科学 環境社会学 戦略的環境アセスメント 環境経営論
環境開発				
(共通) 演習 実習 特殊講義	政策科学入門 基礎演習 プロジェクト入門 政策科学特別実習1 PLC特殊講義 Contemporary Issues in Policy Science I・II	Academic Workshop Introduction to Social Sciences I・II EPS Project I・II Research Workshop	研究実践フォーラム I・II オンライン調査演習 政策科学特別実習2	Field Research Work Shop Policy Studies I・II EPS Project III・IV
				Policy Studies I・II EPS Project V・VI・VII
				Policy Studies III
				Policy Studies IV
				Policy Studies V
				Policy Studies VI
				Policy Studies VII

上記は2025年度カリキュラムです。2026年度は科目名称等が変更になる可能性があります。

科目についての詳細は [オンラインシラバス 立命館](#) 検索

外国語の選択

[必修(EPS)] : 英語

[必修選択(LGA)] : 中国語／朝鮮語／ベトナム語／タイ語／インドネシア語／

フランス語／ドイツ語／スペイン語／ロシア語／イタリア語 から1言語選択



[2025年度 政策構想演習(セミナー)担当教員・研究テーマ一覧]

公共政策系	豊田 祐輔	政策科学からアプローチする防災
角本 和理	中野 勝行	ライフサイクル思考に基づいた環境影響評価
勝村 誠	山出 美弥	まちづくりとコミュニティ・デザインを考える
上久保 誠人	吉田 友彦	統計とGISから考える都市政策
城戸 英樹	社会マネジメント系	
蔡秀卿	飯田 未希	消費文化とジェンダー・セクシュアリティ
田林 葉	石川 伊吹	企業の競争優位とイノベーションのダイナミクス研究
成田 大起	稻葉 光行	学習コミュニティと情報技術
森 隆知	大塚 陽子	ジェンダー平等は福祉社会の持続性をどう高めるのか
環境開発系	小田 尚也	発展途上国が抱えるさまざまな問題を考えるセミ
石原 一彦	岸 道雄	少子高齢化時代の雇用、賃金と社会保障制度の研究
上原 拓郎	坂西 明子	地域経済に関する研究
鍾ヶ江 秀彦	桜井 政成	コミュニティ・ナラティブを探る
小杉 隆信	SCHROEDER MARTIN	政策科学的視点から分析する国際経済: グローバル・バリュー・チェーン
桜井 良	服部 利幸	政府と企業

詳しくは[こちら](#)



卒業生からのメッセージ

相互理解を重視した課題解決の経験を活かし
効果的なデジタルマーケティングの仕組みを構築したい。

学生生活を通して抱いた「感動や楽しさを人々に届けたい」「人々の課題解決に携わりたい」という思いを実現できる環境だと感じ、ソニーマーケティング株式会社に入社しました。現在は経営方針の策定や、業務プロセスの見直しなど、企業や組織が抱える課題を解決するための施策を企画・実行しています。異なるビジネス領域の部署間に立つ業務が多い中、それぞれの部署が持つ価値観の違いを理解した上で、最善の施策を考えることができるのは、大学時代の経験があるからこそです。グループ学習や、大学間連携プログラムにおける被災地での交流を通じて、さまざまな人と向き合い、相互理解を重視しながら課題解決に向け取り組んだ経験が今に活きています。今後は会社の文化やインフラも見直しながら、効果的なデジタルマーケティングの仕組みづくりに挑戦していきたいです。

2012年、政策科学部入学。オリター活動[※]や災害復興支援室の大学間連携プログラムに参加し、複数大学で構成される学生有志団体では学生向けファッショショナーの広報を担当。2016年、ソニービジネスソリューション株式会社(後にソニーマーケティング株式会社と経営統合)に入社。新規事業の立ち上げやマーケティング業務を経験後、現部署へ。

※オリター活動 → P.006



小川 侑佳子 さん
ソニーマーケティング株式会社
B2B プロダクツ&ソリューション本部 ソリューション企画部 企画推進課
(政策科学部 政策科学科 2016年卒業)

ゼミナール活動での経験や学びを糧に 日本企業のさらなる成長に貢献する。

日本を代表する企業の重要な経営課題の解決に携わりたいと考え、戦略コンサルタントを志望しました。現在は、企業の中長期計画の策定やM&A[※]戦略の立案、新規事業の検討を主なテーマとし、CXO(最高責任者)が抱える経営課題解決を支援しています。大学時代は、企業の経営戦略分析や財務分析、企業価値評価を行うゼミナールに所属しました。解くべき課題や論点が高度かつ複雑だったので、夜遅くまでメンバーと分析・討議することもありました。そのすべてが今の自分の糧になっています。仕事で求められる課題の本質を捉える力や課題解決力、何より責任を持ってやり遂げる「ラストマンシップ」は、学部での経験や学びによって培われたと感じています。今後は、企業の変革を牽引できるような業界の第一人者になることを目指しており、そのため日々勉強し続けていきたいと思います。

※企業の合併・買収



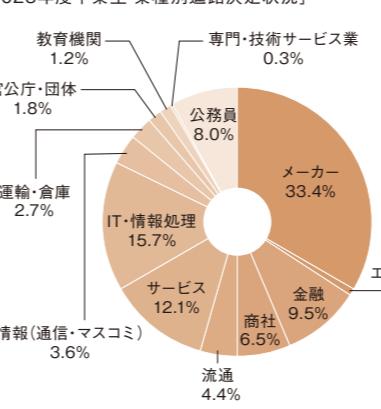
今田 佳佑 さん
アクセンチュア株式会社 ビジネス コンサルティング本部 ストラテジーグループ
(政策科学部 政策科学科 2018年卒業)

2014年4月、政策科学部入学。2018年4月、パナソニック株式会社入社。2022年1月、デロイトトーマツコンサルティング合同会社入社、Region Div.に配属。2024年1月、アクセンチュア株式会社入社、ビジネスコンサルティング本部ストラテジーグループに配属。現在は戦略コンサルタントとして、日本を代表する企業の経営課題解決に携わる。

進路・就職状況

社会人基礎力を身に付け高い就職率を実現。
政策科学部での4年間で得た幅広い視野と課題発見・解決能力を生かして、多くの卒業生が社会で活躍しています。

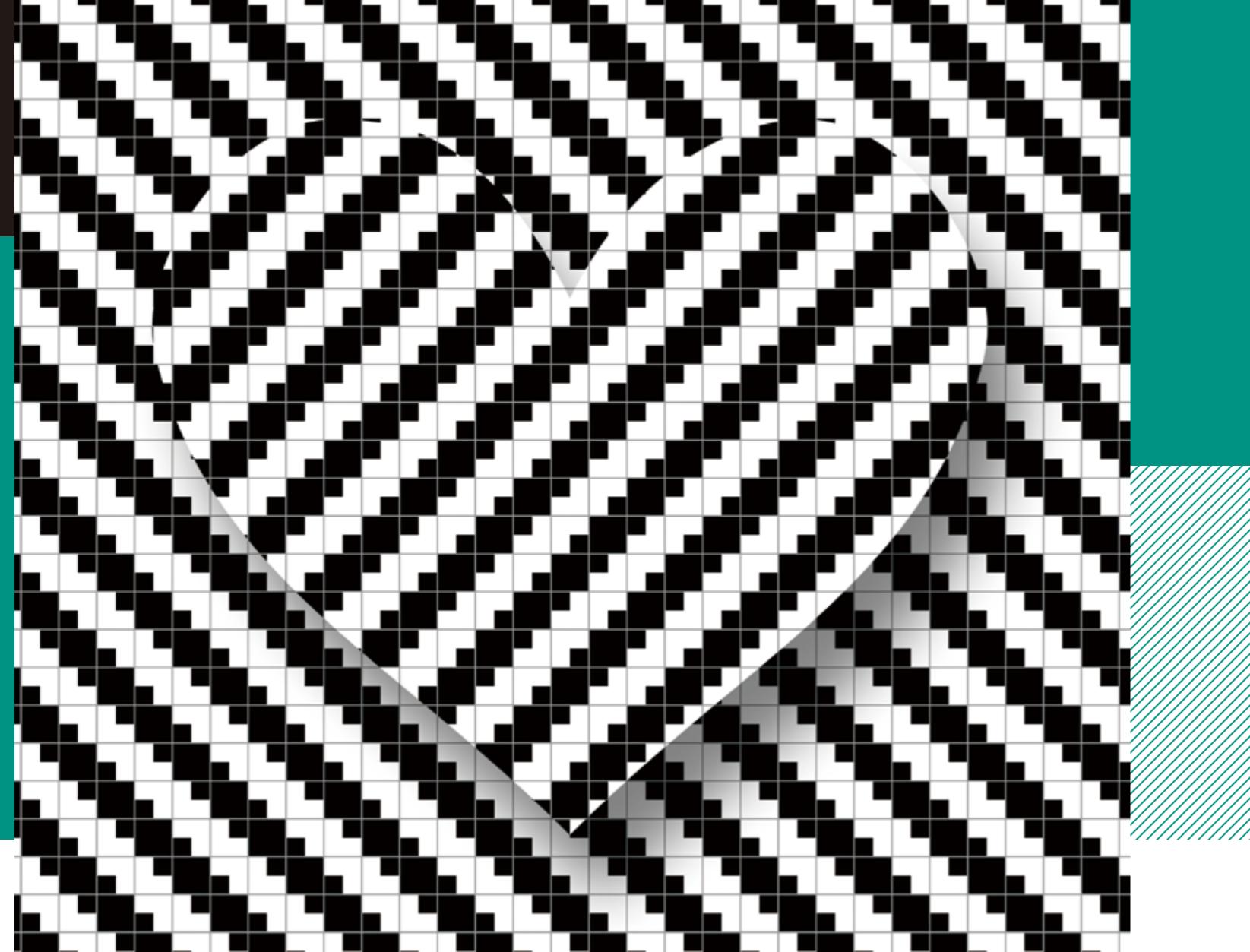
2023年度卒業生 業種別進路決定状況



2023年度卒業生 進路・就職先一例

京セラ(株)	日本航空(株)
KDDI(株)	パナソニック(株)
(株)コーセー	パナソニックホールディングス(株)
労働基準監督官	PwCコンサルティング合同会社
(株)JTB	富士ソフト(株)
アビームコンサルティング(株)	(株)JTB
(株)伊藤園	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
(株)エイチ・アイ・エス	富士通(株)
(株)NTTデータ	住友生命保険相互会社
(株)NTT DATA, Inc	本田技研工業(株)
オリックス(株)	(株)マイナビ
(株)ニトリ	三井電機(株)
(株)リクルート	(株)三菱UFJ銀行
(株)村田製作所	(株)積水化学工業(株)
(株)ニトリ	大和ハウス工業(株)
(株)トヨタ自動車(株)	トヨタ自動車(株)
(株)キーエンス	日本通運(株)

○円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。○端数処理の関係で100%にならない場合があります。



総合心理学部

■ 総合心理学科



STUDENT'S VOICE

多角的な視点が養われる実践的な授業が魅力。公認心理師と臨床心理士の資格取得を目指す。

小学生の頃から心理学に興味を持ち、大学で学びたいと考えていました。総合心理学部には多くの先生方が在籍し、カリキュラムや施設も充実しているため、心理学を学ぶにはとても適した環境だと感じています。専門資格のためのプログラムが細かく整備されており、実践的な授業が行われていたりする点も魅力的です。1回生では、質問紙調査や実験を通して心理学を学び、2回生では、インタビュー法を用いてより深くアプローチしました。インタビュー法は、相手が話す内容だけでなく、表情やテンポ、声のトーンなどから、さまざまな情報を取り出せる点が興味深いです。

心理学を学ぶようになり、多角的な視点が養われていると実感しています。同じ状況や出来事でも感じ方は人によって異なります。どうして感じ方が異なるのか、何がそうさせているのか、これまでの経験や育ってきた環境など、あらゆる方面に考えを巡らせて、相手の人物像や考え方を理解しようとする姿勢が身につきました。また、自分が経験したことに対してもより多様な捉え方ができるようになり、豊かな人生や心の余裕につながっていると感じます。一見マイナスに思える出来事も、「こういう良い部分もあったな」「こういう経験は今までにはなかったな」と、前向きに考えることができます。

将来は、産業分野における心理支援を行いたいと考えています。仕事に対するストレスを抱えている人に対して、どのような経緯で今の状況になっているのか、どのような支援方法が適しているのかを考え、働きやすい環境をつくり、ポジティブに過ごせるようにサポートしていきたいです。目標は、大学院に進学して公認心理師と臨床心理士の資格を取得することです。そのため、現在はさらに知識を深めるべく心理学検定の勉強を進めています。



阿部 洋さん
総合心理学部 総合心理学科 3回生
新潟県立新潟高校出身

取得学位	学士(心理学)
アドミッション・ポリシー	<p>総合心理学部では、本学部の人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を求めます。このため、入学時点において以下の学力、関心などを有することを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること 特に、国語と外国語に関する知識、理解力や表現力を有していること 数学、社会、理科などの分野における知識や思考力を有していること 人間の心と行動、現代における人間の在り方についての問題に関心を有していること

4年間の学び

総合心理学基礎科目で心理学および隣接領域を幅広く学んだ後に、自分の進路を考えながら履修モデルに沿って総合心理学専門科目を履修します。総合心理学専門科目では下位区分として「認知・行動」「発達・キャリア」「社会・文化」を設け、心理学の専門分野を系統的に学びます。また「ヒューマンデータサイエンス」「実践」「特殊講義」では自分の目的に応じて研究力と実践的応用力を身に付けていきます。

認知・行動

知覚心理学や認知心理学、行動分析学、認知行動療法をはじめとする領域の専門的知識を学修します。実験的な手法を用いて、特に量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

ヒューマンデータサイエンス

統計法やデータ解析などのデータサイエンス関連科目に加え、心を測定するための方法を体系的に学修します。研究から社会の現場まで幅広くデータを扱うことができる学生を育成します。

発達・キャリア

人間の生涯発達や組織行動、行動経済学をはじめとする領域の専門的知識を学修します。高度な統計手法や行動観察法を用いて、質的、量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

実践

アクティブラーニングを主体として、課題を発見し解決する力、グレーブワーク、プレゼンテーションなどのスキルを学修します。総合心理学を実践的に生かすことができる学生を育成します。

社会・文化

コミュニティワーク、多文化コミュニケーション、法と倫理などの領域の専門的知識を学修します。フィールドワークや行動観察法、会話の分析などを用い、質的、量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

特殊講義

国際的な心理学の実践や研究の中で使える英語運用能力の学修に加え、最先端の心理学に関するトピックスについて学修します。激しく変動するグローバル社会の中で活躍できる学生を育成します。

学びの特色

実践的な学びを通じて、課題解決力を身に付ける

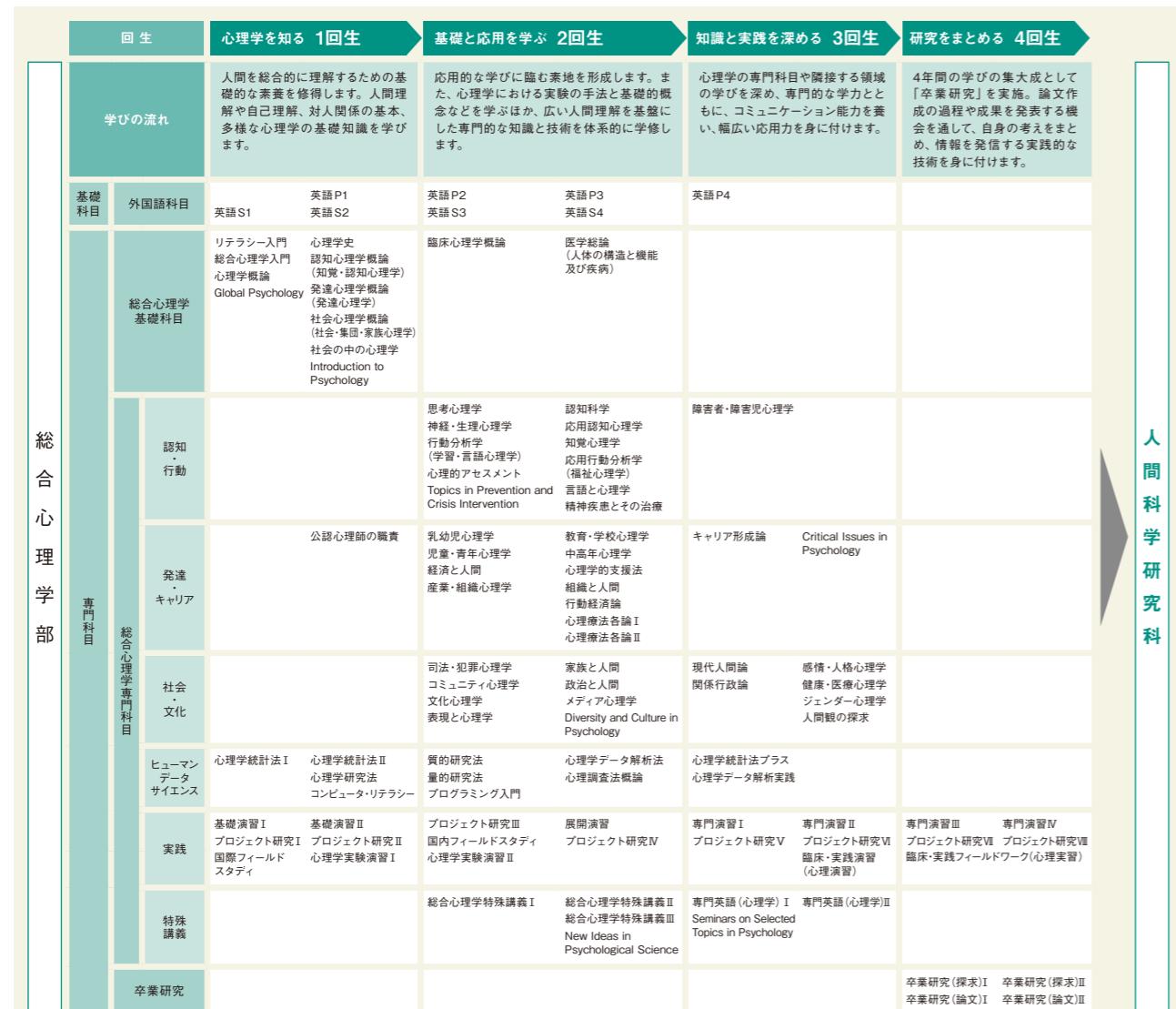
〈実践知教育〉アクティブラーニングで実践知を養う

学生自らが課題を発見し、研究を通じてその解決に取り組み、論文作成や発表・議論へとつなげるプロジェクト型の学びを実施します。体系的なデータサイエンスの修得や、充実した環境を活用した研究の実践に加え、地域・企業・臨床現場と連携したフィールドワークを通じて、研究と現場を結びつける深い理解を伴う実践知を養います。



〈国際的な心理学教育〉英語運用能力を高めグローバルな視野を身に付ける

英語による専門科目を開講し、グローバルな心理学の知識に触れるとともに、国際交流を体験する機会を提供します。プロジェクト発信型英語プログラムでは、学生が興味を持つテーマについて、世界中から情報を収集し、リサーチやディスカッションを行った上で、その成果を英語で発信します。これらの国際的な心理学教育を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野を養います。



・上記のカリキュラムは予定であり、変更となる場合があります。

・学部の専門教育とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➡ 教養科目 P.130

科目についての詳細は [オンラインシラバス 立命館](#) 検索

外国語の選択

【必修】英語

グローバル化が進んでいる心理学分野において、英語が国際レベルの研究活動、研究交流、研究の主要語であることから英語専修にしています。

〈心理臨床実践教育〉実践・実習を通じて心理学のスペシャリストを目指す

臨床心理学の基礎知識を学ぶとともに、実習を通じて対人援助の実践方法を学びます。具体的には、対人援助の領域で活躍されている方々との対話を通じて、臨床実践のあり方を学び、適性を知るとともに、カウンセリング面接・グループ面接・認知行動療法・家族療法などのロールプレイで具体的な技法や知識を学びます。

〈卒業研究〉体系的に学びを積み重ね、集大成として卒業研究に取り組む

学生は全員、自身の設定した研究テーマについて、担当教員の指導のもと論文型または探究型の卒業研究に取り組みます。卒業研究を通じて、知識・情報処理能力・論理的思考力・判断力・表現力を鍛え、それらを総合的に使うことができる能力を養います。

【2024年度卒業論文テーマ一覧（総合心理学部一部抜粋）】

- ・オンラインニュースに含まれる諸要因が読者評価に与える影響
—感情表現とコメント欄に着目して—
 - ・セラピストの涙のプロセスに関する質的研究—対人プロセス想起法を用いて—
 - ・現代日本の若者の恋愛観—ロマンティック・ラブ・イデオロギーが変化した後で—
 - ・阪神・淡路大震災での死別経験者がPTG*を獲得するプロセス
 - ・小・中学生期の家族内役割が青年期の過剰適応に与える影響
—居場所とセルフ・コンパッションの調整効果に注目して—
 - ・性犯罪被害の告発時期が被害者と加害者への態度に与える影響
—相互フィードバックがヴァイオリン演奏の技能に及ぼす影響
 - ・問題状態ボトルネックにおける手がかり提示の効果：応答時間・精度・メンタルワークロードの測定
 - ・両耳分離聴法の音楽聴取への応用検討
- *PTG: 心的ストレス後成長

詳しくは[こちら](#)▶



【2025年度 教員・研究テーマ一覧】

岩壁 茂	心理療法のプロセスと効果の研究、心理療法の統合、感情、臨床家の訓練と職業的成長 心理療法と文化・社会
宇都宮 博	青年期から成人期にかけての人格発達と家族・社会関係
大石 衡輔	言語を理解している間の脳活動についての研究
岡本 直子	音楽の効用を心理的介入に最大限に活かすための日米共同研究、芸術療法、 TFT（思考場療法）の実践および研究
神島 裕子	社会正義論、道徳感情論
川野 健治	コミュニケーション、予防・促進プログラムの開発と評価
北岡 明佳	錯視とだまし絵の実験心理学的研究
吉 洋汎	表現療法、こころのケアと文化、スクールカウンセリング
サトウ タツヤ	文化心理学、ものづくり質的研究、心理学史、復興/まちづくり心理学、 メタバース不登校支援、宇宙心理学
佐藤 洋輔	LGBTQ+のウェルビーイング、偏見と差別、ポジティブ心理学に基づく予防的アプローチ
澤野 美智子	医療と家族に関する文化人類学
首藤 純介	こころの健康増進、依存症への支援、精神障害を持つ人への 認知行動療法/臨床行動分析に基づく支援
鈴木 華子	多様性、メンタルヘルスとウェルビーイング、予防的支援、世界のメンタルヘルス
高橋 潔	AIを活用した心理ビジネス、リーダーシップ開発
高橋 康介	知覚、認識、行動、感性、およびその多様性に関する認知心理学研究
土田 宣明	実行機能とその加齢変化に関する実験的研究
實 雪	メディア心理学およびオンラインメディアの効果研究とその応用
永井 聰剛	社会的コミュニケーションと認知、動作および身体と認知、動的シーンの知覚
山本 博樹	意味理解を支援する説明の教育心理学
若林 宏輔	社会を規定する法の人間の問題に対して心理学的にアプローチする研究



学びの特色

全国有数の規模を持つ実験・実習施設とアクティブ・ラーニングを支える学習空間



■動物行動実験室

ハトを使った動物心理学の研究を通じ、人間と人間以外の動物の心の共通性などを探ります。



■脳機能画像分析装置

近赤外分光法を用いて脳活動を調べる装置です。fMRIよりも自由度の高い実験が可能です。



■NAO(人型ロボット)

人間の知的な振る舞いをプログラミングすることで、人間の動きについて理解を深めます。



■面接実習室

カウンセリングの実習やインタビュー調査、また家庭セットによる心理療法の実習などを行います。



■プレイルーム

おもちゃや砂場を配備し、主に子どもの心や行動を調べるための実験や観察を行います。



■生活行動実験室

キッチンや応接セットなどを配備し、日常生活における行動の特性や援助が必要な場面を探ります。

[大学院進学 一人間科学研究科]

社会の中に生きる心理学・人間科学の創造を通して、学術と社会の発展に貢献する人材を育成。

人間科学研究科は、基礎心理学から臨床心理、対人援助（福祉・教育・カウンセリングなど）まで幅広い研究領域を網羅する大学院として2018年に設置されました。全国随一の院生数と教員数を誇り、学術と実務の垣根を越えた、産学協同による研究と実践でさまざまな学びをサポートします。心の内だけでなく、人間を総合的に知るために分野を超えて学び、専門性をさらに深め、総合心理学部での学びをさらに発展させ追求していく環境が整っています。

特色ある多様な研究領域

人間科学に関する多様な研究により、院生が自らの学問的関心を中心に捉えて、さらに周辺領域へ融合・発展させることができるカリキュラムや研究機会を用意しています。

社会人院生在籍によるアカデミックとプロフェッショナルの融合

博士前期課程、後期課程ともに社会人院生が在籍し、実務からの課題解決研究とアカデミックな視点からの研究が並存し、学術界と実社会の融合を起こします。

国家資格『公認心理師』の認定プログラムに対応

医療保健領域から教育、福祉、産業、司法、被災者支援、社会福祉と幅広い領域における課題に対応する公認心理師。人間科学研究科では認定プログラムに対応するとともに、アカデミックな角度からのアプローチも行います。

【公認心理師に求められるもの】

- 公認心理師には、知識以外に技能・態度の修得が求められています—
- ▶心理検定、心理面接、地域援助、教育研究という従来の職務に加えて、状況を適切に把握し、事実を的確にアセスメントし即応した支援を行うことができる技能・態度
- ▶多次元にわたり、交錯する要因が関わる困難な問題の増加→多職種との共同体制
- ▶良いチームワークとフットワークの軽いアドバイザー

※公認心理師試験受験資格取得は、大学・大学院において省令で定める科目を履修し、卒業・修了する必要があります。

【修了後の進路】

現代・未来を見据えながら、社会から求められる各領域のスペシャリストを養成し、分野を問わず、さまざまな場面での活躍が期待されます。

進路例

- 臨床心理士
- 産業カウンセラー
- スクールカウンセラー
- 警察官
- 司法
- 福祉
- 教育
- 医療
- 高齢者介護
- 障害者支援
- 看護師
- 保健師

卒業生からのメッセージ

心理学で一人ひとりの未来を支える

柔軟で思いやりのある家庭裁判所調査官に。

心理学を活かせる仕事として、家庭裁判所調査官を志望しました。現在は、2年間の養成課程の中の実務修習として、主に少年事件を担当しています。20歳未満の少年が関わる非行について、面接などの調査を通じ、非行に至った背景や再犯のリスクを分析して裁判官に報告する仕事です。人生の重要な局面にある少年や保護者と深く関わるため、やりがい以上に責任の大きさを感じています。心の底にあるものを引き出すために、心理学の知識は不可欠ですが、大学での他者と協働した経験や、自分の考えを言語化する力が活かされていると思います。とりわけグループワークでの経験が、事件に関する同僚や上司との討議に役立っていると実感しています。今後の目標は、事件当事者に合わせて柔軟に対応できる調査官になることです。一人ひとりの背景に思いを巡らせつつ、伝え方や接し方に工夫を凝らしていきたいと考えています。

2020年、総合心理学部に入学。授業を通じて家庭裁判所調査官という仕事を知る。心理学を活かすことができ、人生の重要な局面にある子どもや家庭と深く関わる職業として魅力を感じ、採用試験を受ける。2024年、大阪家庭裁判所に家庭裁判所調査官補として採用される。今後は、離婚調停や成年後見などの家事事件などを担当する予定。



神鳥 仁郎 さん
大阪家庭裁判所 調査官補
(総合心理学部 2024年卒業)

心理学の学びを通じて培った力を武器に 生成AI領域のソリューション営業に尽力する。

「誰もが自分らしく生きられる環境を自ら選び取れる仕組みを創る」。その実現のためVRやメタバースに携わりたいと考え、IT業界を志望しました。大学時代はゼミナール活動に力を入れ、卒業論文では「自分の声からVRアバターをつくれたら」という発想のもと、Classification Image法という手法を用いて「高音および低音からイメージされる顔の可視化」をテーマに研究しました。そのほかにも、認知心理学会のセミナー登壇やビジネスコンテスト、「国際社会で活躍する人材養成プログラム」への参加などを通じて、多様な経験を積むことができました。現在は生成AI領域のソリューション営業を担当しています。心理学の学びを通して培ったコミュニケーションに関する知識は、仕事にも活かされています。さらに営業力を磨き、将来は商品・サービス企画に挑戦することが目標です。



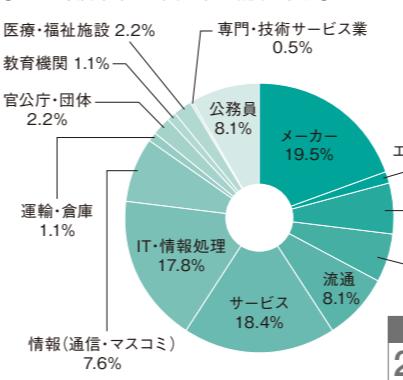
若本 夏実 さん
株式会社NTTデータ テクノロジーコンサルティング事業部
(総合心理学部 2024年卒業)

2020年、総合心理学部に入学。3回生の時に参加したインターンシップで、真面目さを尊重する風土があり、自分のやりたいことを実現できる会社だと感じたことから、2024年、株式会社NTTデータに入社。現在は生成AI領域のソリューション営業担当者として、社内情報から回答を生成するために必要な製品を担当。

進路・就職状況

「社会で生きる心理学」を身に付け、個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献する人材を養成します。

2023年度卒業生 業種別進路決定状況



2023年度卒業生 進路・就職先一例

あいおいニッセイ	(株)JTB
同和損害保険(株)	スマセイ情報システム(株)
(株)アイシン	【住友生命グループ】
アマゾンジャパン合同会社	日立建機(株)
エス・エム・エス	富士フイルムビジネス イノベーションジャパン(株)
NTTデータグループ	ダイキン工業(株)
NTTデータ	TDK(株)
NTT DATA, Inc	東京海上日動火災保険(株)
カブコン	株式会社
九州電力(株)	東京書籍(株)
近畿百貨店	TOTO(株)
ケーズホールディングス	西松屋チェーン
日本政策金融公庫	(株)読売新聞東京本社
ニッカミルタ(株)	(株)LIXIL
サイボウズ(株)	東京電力ホールディングス(株)
日本電気(株)(NEC)	TOTO(株)
日本発条(株)	裁判所職員総合職 (家庭裁判所調査官補)
京都市役所	大阪市人事委員会

○円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。○進学率=(進学者/(就職者+進学者))。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。○端数処理の関係で100%にならない場合があります。



グローバル教養学部

■ グローバル教養学科 英語・4月 英語・9月

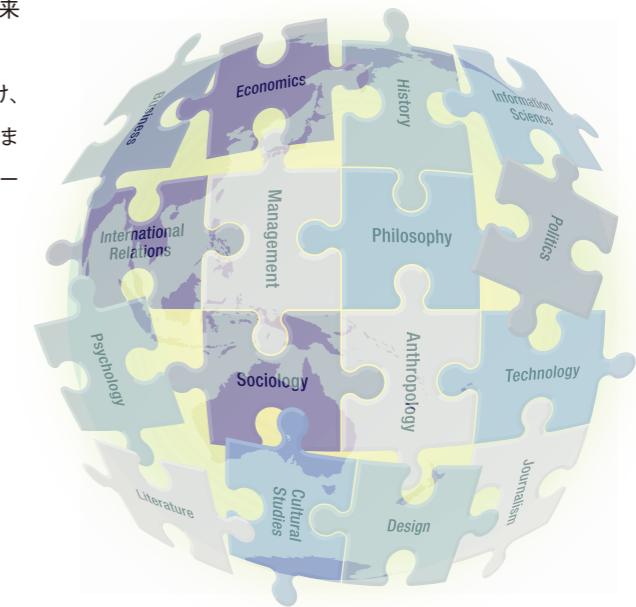


英語を話すその先へ、 リベラル・アーツを身に付けてグローバルに活躍する

皆さんは、GLA（グローバル教養学部：College of Global Liberal Arts）と聞いて、どんな学部を想像するでしょうか。本学部の最大の特長は、名門オーストラリア国立大学とのデュアル・ディグリー・プログラムにあります。オーストラリアでの1年間の留学では、世界中から集う優秀な学生と共に、アジア太平洋の国際関係学を専門的に学びます。今日の国際政治と世界経済を分析するための一流の知識、留学で得られるリアルな異文化体験、そしてそこで育む世界につながる豊かな人脈は、そのまま卒業後のキャリア形成に大きなアドバンテージを与えるでしょう。

それだけではありません。GLAの魅力と強みは、日本で学ぶ3年間にこそあります。皆さんはここで、文理にまたがる幅広い知識を実際の社会の発展に役立てていく具体的な方法論＝リベラル・アーツを、ディスカッション・ベースの実践的な方法で徹底的に鍛えていきます。リベラル・アーツとはもとより、既存の社会構造や古い考え方人々を「解放 Liberate」し、より良い社会と未来を創造する知の「技法 Arts」のことなのです。

世界は今、そうしたリベラル・アーツを身に付け、グローバルに活躍する社会のリーダーを求めています。英語を話すその先へ、GLAは、皆さんのグローバル・キャリアを全力で応援します。



STUDENT'S VOICE

少人数授業でのディスカッションで、批判的な思考力が身についた。

幼い頃海外に住み、日本語より英語の方が得意な私にとって、すべての授業が英語で行われるグローバル教養学部はとても魅力的でした。また、少人数で授業が受けられることも志望の大きな理由となりました。実際に、これまで受けた授業の人数は、7人から20人程度。そのため、ディスカッションの機会が多く、先生は学生一人ひとりの到達レベルを理解した上で、丁寧な指導をくださいます。これは大人数のクラスでは得られないメリットだと思います。

今一番関心を持っているのは、国際関係についてです。“Introduction to politics”や“Introduction to International relations”などの授業を受けています。将来、仕事にしたいと考える分野を深く学びつつ、興味のあることを広く学べるのも、この学部の魅力だと思います。授業では、自分の考えを発言する機会が多くありますが、その都度先生が反論を提示してくださるので、次に私は、先生の反論内容のどこに問題があるのかを別の見方から考え、述べることになります。こうした学びを通して、物事に対する批判的な見方が身につきました。政治学や国際関係学のさまざまな思想を学ぶ際にも、それぞれの思想にはどのような問題があるかを考え、自分の意見として述べる機会があるので、よりクリエイティブな観点で物事を見る能够性が得られるようになりました。

将来は、外交官、もしくは発展途上国が直面する貧困や武力などの問題を解決し、多くの人々を助けることができる仕事に就きたいと考えています。大学のキャリアセンターでこれらの仕事に関連するセミナーに参加し、具体的な仕事内容などを学んでいます。広い視野を持って、さまざまな意見や経験談を聞き、進路選択の参考にしています。



鈴木 碧天 さん
グローバル教養学部 グローバル教養学科2回生
静岡県・加藤学園高等学校出身

取得学位	立命館大学学士（グローバル教養学）、オーストラリア国立大学学士（アジア太平洋学）
アドミッション・ポリシー	立命館大学グローバル教養学部では、以下のような学生を求めています。 ・グローバル社会の諸問題を知的に論じられる英語力及び基礎学力を有する者（具体的な英語要件は別途参照） ・グローバル社会の諸問題に高い関心をもち、多様な文化や価値観を尊重し、協力することができる者 ・知の技法を習得し、人文学、社会科学、科学技術の諸分野から自らの問題関心や進路に関わる学術分野への理解を深めることを通して、グローバル社会の諸問題を主体的、実践的に解決するグローバルリーダーを志す者

4年間の学び

4年間の学びの特長

■ オーストラリア国立大学(ANU)とのデュアル・ディグリー・プログラム(DDP)

立命館大学(RU)はANUのCollege of Asia and the Pacificと提携し、全て英語による4年間の授業を通じて両大学の所定の条件を満たし単位を取得すると、卒業時にRUの学士(グローバル教養学)とANUの学士(アジア太平洋学)の2学位を取得できるプログラムを提供しています。4月入学の場合は2回生の秋学期から3回生の春学期まで、9月入学の場合は3回生でANUに留学予定ですが、留学前後のセメスターでは、大阪いばらきキャンパス(OIC)でRUとANUの授業を同時に受講します。

■ 知識を生かすための知の技法を学ぶ、世界に通ずるリベラル・アーツの学び

RUのカリキュラムでは、「リベラル・アーツ」の名のとおり、文理にまたがるさまざまな学問の基礎が体系的に学べます。哲学や歴史学、政治学、経済学、社会学、カルチャラル・スタディーズ、国際関係論、情報工学、経営学、デザイン学、心理学、持続可能な社会などの学びを通じて、知識を社会発展や問題解決に活用するための力を徹底的に鍛えます。

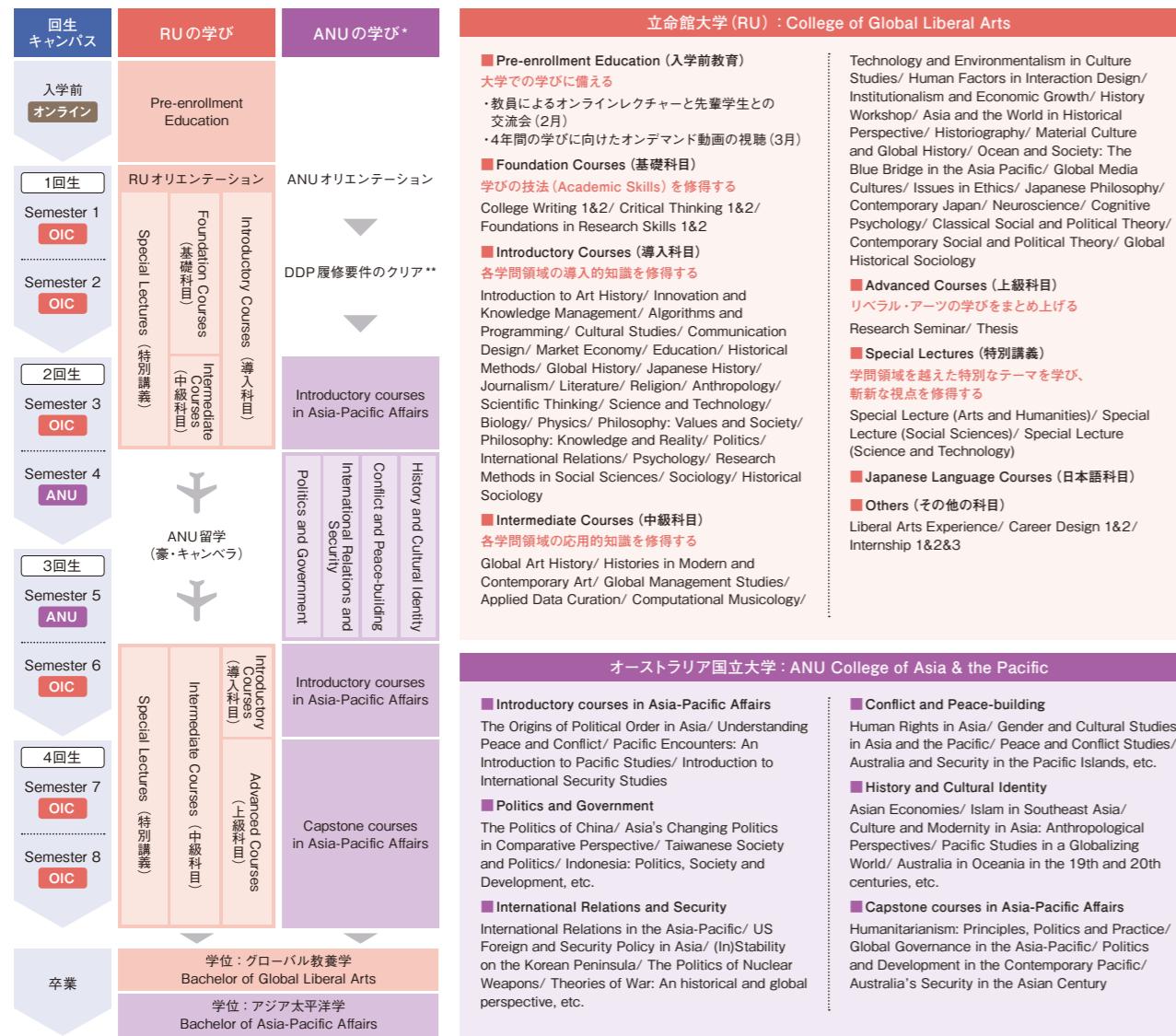
■ ANU College of Asia and the Pacificによるアジア太平洋地域の専門的な学び

ANUのカリキュラムでは、College of Asia and the PacificのCoral Bell School of Asia Pacific Affairs(通称: Bell School)が提供するアジア太平洋地域に関する科目分野を履修します。Bell Schoolは、卓越した研究力と教育力で、世界やアジア太平洋地域の政治学、安全保障、外交、戦略立案に関する研究、教育、政策分析で世界をリードしています。

グローバル教養学部の学びの流れ [4月入学の場合の例]

ANU TEQSA Provider ID: PRV12002 (Australian University) | ANU CRICOS Provider Code: 00120C

*詳細はANUウェブサイトでご確認ください。



**ANUの科目を履修するためには、所定の条件をクリアする必要があります。詳細はグローバル教養学部ウェブサイトでご確認ください。

デュアル・ディグリー・プログラム体験記

RUの学び

多様な考え方触れ、異文化理解における「尊敬」の重要性を実感。



ANUの学び

日本とオーストラリアの両方の学びを通じ、グローバルな問題を多面的に見る視点を養えた。



中島 謙大 さん

グローバル教養学部 グローバル教養学科 2回生
スイス・スイス公文学園高等部出身

国際関係や哲学、アートヒストリー、AI、キャリアデザインなど、多様な分野を学べるところが、GLAの魅力です。異なる分野の中に共通点を見つけることで、分野間のつながりが見えるようになってきました。また少人数の対話型授業を通じて、論理的に話す力が身につくとともに、多様な考え方を受け止め、違いを尊重しながら話すことができるようになったと感じています。授業では、「考え方は一通りではない」と実感することばかりです。その中で、異文化理解において尊敬することの重要性を深く認識するようになりました。ANU留学は、自分の価値観を一新し、視野を広げるチャンスです。しっかり学び、留学後は誰もが異国の文化を体験できる没入型教育コンテンツをつくりたいと考えています。

Do Ngan An さん

グローバル教養学部 グローバル教養学科 3回生
ベトナム・Chu Van An National Highschool for the Gifted出身

国際関係と政策に関心を持っており、ANU科目では、"The Origins of Political Order in Asia" や "Understanding Peace and Conflict" を履修しました。授業では、特定のテーマを掘り下げて学ぶことで、より深い知識と理解を得られました。DDPで学んだ最大の成果は、アジア太平洋地域に関連するグローバルな問題について、多面的に見る視点を養えたことです。紛争や諸問題をただ批判するのではなく、理解する姿勢で考えられるようになりました。授業では、議論する機会も豊富にあります。さまざまな意見に触れることで、批判的思考力や解釈力が身につくとともに、協力して物事に取り組むスキルも向上したと感じています。さらに研究を続けるため、大学院に進学したいと思っています。

2025年度 教員・研究テーマ一覧

教員名	研究分野名
石原 悠子	哲学、日本哲学・現象学
糸井 貴タ	応用言語学、高等教育の国際化、言語教育
小木曾 左枝子	外国语・第二言語教育、日本語教育
OZTURK Ugur Aytun	経営科学、経営工学、オペレーションズ・リサーチ
北野 知佳	社会言語学、ジェンダー研究、アイデンティティ研究
志村 真弓	国際関係論、国際政治学、平和研究
JOHNSON Christopher	哲学、政治哲学・公共哲学
CAPKOVA Helena	芸術学、美術史
THOUNY Christophe	比較文学、日本視覚文化、都市学
BATOOL Saeeda	開発経済、男女格差

詳しくはこちら▶



教員名	研究分野名
廣野 美和	現代中国論、国際関係論
藤田 加代子	日本史、グローバル・ヒストリー
HAIMES Paul	美学、インテラクティブラーニング
堀江 未来	教育学、異文化間教育・教育政策行政論
MARQUEZ Gian Powell	海洋科学、再生可能エネルギー研究
MARUTSCHKE Moritz	データサイエンス、教育工学、人工知能を活用した学際的研究
山下 恵理	障害学、フィリピン地域研究
山下 範久	歴史社会学、社会理論
RASIT Huseyin	政治社会学、社会理論

キャンパスライフ(寮生活)

OIC グローバルハウス

OIC グローバルハウスは、大阪いばらきキャンパス (OIC) 内に2019年に竣工した分林記念館の中にある国際寮です。グローバル教養学部の学生が中心となって入寮し、「キャンパスの中で、共に学び、共に暮らす」生活を送っています。個室タイプの寮室を200室用意するとともに、茶室・日本庭園・能舞台を備えた多目的ホールなど、日本文化を感じられる多様な国際交流の場を設けています。



寮生の声

多国籍の寮生との交流を通して、コミュニケーションスキルがアップしました。

OIC グローバルハウスの魅力は、多国籍の人たちと交流できるところです。共に生活する中で、習慣や文化の違いに自然と触れ、異文化への理解が深まることに加えて、異なるバックグラウンドや価値観を持った人々と日々接することで、視野が広くなり、コミュニケーションスキルが向上しました。語学の上達にとってもよい環境なのは、言うまでもありません。私は中学2年生の2月から高校卒業までの4年間、ニュージーランドに留学していたので、英語力は身についていますが、寮での会話、グローバル教養学部でのすべて英語による授業、英語での課題提出などによってさらに鍛えられ、留学時よりも伸びていると感じています。

また、立地のよさもこの寮のメリットです。キャンパス内にあるので教室が近く、駅にも近く、スーパーやショッピングモールも近くにあって、買い物にも便利。自炊することが多いので、この点でも助かっています。キッチンや多目的室、ランドリーなどは共用ですが、寮生はそれぞれ個室に住んでいるので、適度なプライバシーが保たれており、自分のペースで暮らせています。とはいえ、共同生活ですから周りへの気遣いも必要です。多様な人たちと同じ空間に暮らす経験を通して、自分を律する自己管理能力も向上したと思っています。



赤坂 飛奏 さん

グローバル教養学部 グローバル教養学科 2回生
ニュージーランド・Garin College 出身

ANU Accommodation

ANUのCollege of Asia and the Pacificの一部であるCoral Bell School of Asia Pacific Affairsの学舎は、オーストラリアの首都キャンベラにあり、公園のようなキャンパスの中にあります。また、ANUには食事付き・無しなどのさまざまなタイプの学生寮があり、留学時はその中の一つに入寮することになります。詳細は、ANUウェブサイト*をご確認ください。



*ANUウェブサイトはこちら ▶

卒業生からのメッセージ

2つの大学で身につけたグローバルな視点で、アジア太平洋地域の複雑な金融課題に対処。

大学での学びや国際戦略研究所 (IISS) でのリサーチアシスタント経験を通して、アジア太平洋地域の多様性とその可能性に強く惹かれるようになり、この地域の経済の発展に貢献したいと金融業界を志しました。現在はアジア統括部門のアナリストとして地域ガバナンスと企画業務を担当しています。立命館大学とオーストラリア国立大学 (ANU) の両方で学ぶデュアル・ディグリー・プログラムを通して、知識や国際的なコミュニケーションスキルが身についたのに加え、多様なバックグラウンドを持つ学生や教員との交流・議論によって異文化理解を深め、グローバルな視点を得られたことが、アナリストとして複雑な課題に対処し、適切な解決策を提案する上での財産となっています。今後はさらに実践的スキルを磨き、自己研鑽に努め、地域や企業のさらなる発展に寄与していきたいと考えています。

2019年、グローバル教養学部入学。オーストラリア国立大学 (ANU) の「International Security Issues in the Asia Pacific」での研究が高く評価され、ANUと米・プリンストン大学との共同研究プロジェクトに招待される。卒業後、国際戦略研究所 (IISS) で地域安全保障に関する研究支援を行った後、2024年2月より株式会社三菱UFJ銀行 アジア企画室でアナリストとして勤務。



曾 俊豪 (CHAN Jun Hao) さん

株式会社三菱UFJ銀行 アジア総合管理部 アジア企画室
(グローバル教養学部 グローバル教養学科 及びオーストラリア国立大学 アジア太平洋学部 2023年卒業)

コミュニケーションスキルや本質を理解する力を強みに、興味のある分野に積極的に挑戦していきたい。

現在は日本の投資家向けの航空機投資に関する部署に所属し、航空機売買のプロセスをフォローする業務を担当しています。書類作成や進捗管理、またアイルランドにある航空機専業のグループ会社とのやり取りなど、幅広い業務を担っています。大学時代、記憶に残っているのが、オーストラリア国立大学 (ANU) の「Global Governance in the Asia Pacific」という授業です。ESG (環境・社会・ガバナンス) やAI、政治、国際紛争など一見関連性がない事柄が、実際には深く結びついていることを学びました。また卒業論文では中国の「双循環戦略」について研究し、日本経済政策学会での発表も経験しました。学びや研究を通じて培った異なるバックグラウンドを持つ人のコミュニケーションスキルや物事の関連性を考え本質を理解する力は、今の業務にも活きています。今後も興味のある分野に積極的に挑戦し、新しいことを学び続けていきたいと考えています。



脇坂 純 さん

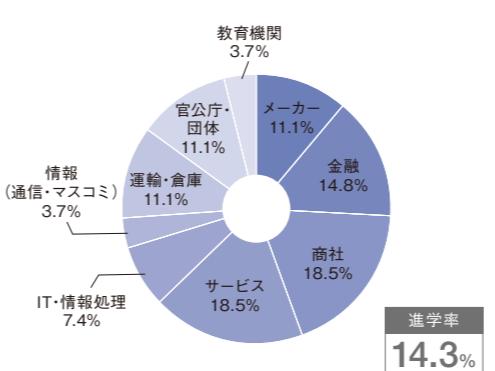
オリックス株式会社 輸送機器事業本部 航空事業グループ
(グローバル教養学部 グローバル教養学科 及びオーストラリア国立大学 アジア太平洋学部 2024年卒業)

2020年、グローバル教養学部入学。RUでは、GLAの国際寮に入寮し、副リーダーを務める。またボランティア学生団体を設立して活動。2022年、1年間、オーストラリア国立大学 (ANU) に留学。幅広い事業領域とグローバルな展開に加え、社会のニーズに応じて新たな分野に進出するチャレンジ精神に魅力を感じ、2024年4月、オリックス株式会社に入社。

進路・就職状況

デュアル・ディグリー・プログラムの学びで得た圧倒的な英語でのコミュニケーション力、思考力、課題発見・解決力で、グローバルに展開する大手企業に採用されています。また、世界有数の大学院にも進学しています。

2023年度卒業生 業種別進路決定状況



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

自分らしく、世界で活躍する。

デュアル・ディグリー・プログラムの学びで得た圧倒的な英語でのコミュニケーション力、思考力、課題発見・解決力で、グローバルに展開する大手企業に採用されています。また、世界有数の大学院にも進学しています。

2023年度卒業生 進路・就職先一例

アクセンチュア(株)	ソフトバンク(株)	(株) プログリット
伊藤忠商事(株)	デジタルアーツ(株)	メルセデス・ベンツ日本(株)
岡三証券(株)	東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)	ロバート・ウォルターズ・ジャパン(株)
オリックス(株)	長瀬産業(株)	The Australian National University
ジャパンマテリアル(株)	日本通運(株)	Georgetown University
シンガポール航空会社	日本郵船(株)	Seoul National University
スイスポートジャパン(株)		

立命館大学 International Admissions YouTube チャンネルで、学部紹介や卒業生インタビューの動画をご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCbJyut1AChjkVtMoGrLv04A>





H棟1Fシアター教室

映像学部

■ 映像学科

取得学位	学士(映像学)
アドミッション・ポリシー	<p>映像学部では、芸術(アート)的、経済(ビジネス)的、工学(テクノロジー)的な要素を備える様々な科目を通じて、映像に関する「理論」と「実践」を繰り返し学んでいきます。こうした学びの中で、多様化する映像を社会の様々な場面で利活用できる「プロデューサー・マインド」を身につけ、未来の映像文化および映像産業を担う強い意志を持つ学生を求めます。具体的には、以下の資質を備えている学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 映像を学ぶことに関わる総合的な学力を備えている者 映像を表現し、理解するための知識と技能を身につける意欲を備えている者 映像を通じて広く人類と社会に貢献していく強い意思を備えている者



あらゆる分野をつなぎ、社会に貢献する「映像」

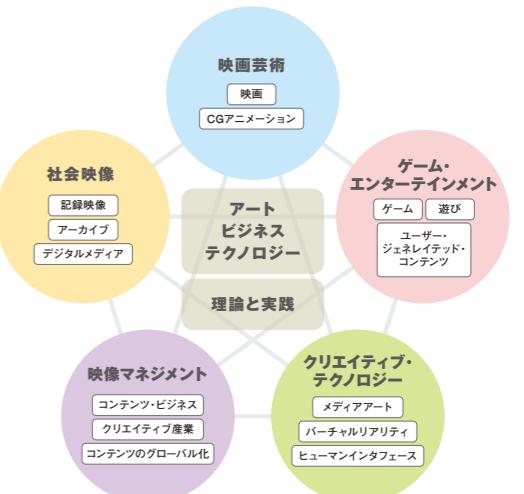
「映像」という言葉に、皆さんは何を思い浮かべますか。

ワクワクするような冒險が繰り広げられる映画やCGアニメーション、手に汗握るアクションゲームが身近な映像であると考える人もいるかもしれません。映像学部では、それだけではなく、映像を用いた社会課題の解決とその基盤となる多様な文化的価値の創造を目指しています。

映像関連のテクノロジーはめまぐるしく発展し、生活文化も著しく変化させています。いつもポケットやカバンに入っているスマートフォン、勉強や仕事で使うパソコン、街中や電車の中に設置されたモニター広告。もはや、わたしたちの生活は映像で溢れかえっています。

こうした背景を踏まえ、映像学部では、「映画芸術」「ゲーム・エンターテインメント」「クリエイティブ・テクノロジー」「映像マネジメント」「社会映像」といった5つの学びのゾーンを軸に、多様な映像分野を開拓し、映像を通じて広く人類と社会に貢献していく人間を育成しています。

大阪・京都を軸とした関西圏の映像文化の発展に貢献するとともに、映像制作・研究を通じて、社会の変化を先取りする、創造性豊かなクリエイター、イノベーターを育成します。



立命館映像展 立命館大学映像学部卒業制作・大学院映像研究科修士制作合同展示・上映会

「立命館映像展」は、映像学部生・研究科生の卒業研究・修士研究の成果を、展示・上映、ポスター発表という形で社会に発信する最大の機会です。学内外の方々に、これらの成果を直接見て、触れて、体験していただける場でもあります。2024年度は、大阪いばらきキャンパスH棟にて開催しました。

STUDENT'S VOICE

チームでゲームを制作する経験を積み、理想のゲームクリエイターに一步近づけた。

高校生の頃はデジタル制作系の部活に所属して映像制作をしていました。また、ゲームをプレーしているうちにゲーム制作にも興味が湧いたため、両方を学べる映像学部を選びました。印象的だった授業の一つが、「ゲーム制作実習」です。これは、チームでゲームを制作する授業で、初回の授業でプロジェクトマネージャーを集め、企画をその場で考えプレゼンをし、賛同したメンバーでゲームを制作します。私は、プロジェクトマネージャーとして引っ張る立場でしたが、メンバーそれぞれゲームの制作経験が違うので、制作する上での目標や共通認識をつくることが難しかったです。この経験を通じてチームでのゲーム制作の基本的な考え方などが理解でき、自分自身の成長につながりました。

映像学部の特長的なイベントに「JUN × CAREE」(EIZO JUNCTION × キャリアフェア)と呼ばれる、映像学部生・研究科生の作品・研究の成果を学内外に向けて発表する場があります。就職委員会の副代表として、このイベントの企画運営を担ったことが心に残っています。こちらもチームで動くことになりますが、普段の授業で行っている少人数のゲーム制作の企画開発では経験できない、関係各所との調整やコミュニケーション能力が必要で、この新たな経験が自信になりました。

現在は、ゲームジャム^{*}に挑戦したり、ゼミナールを通して多くのゲーム制作経験を積んだりしながら、そこで起きるさまざまな問題に取り組むことを心がけています。また、ゲームプレーや映画視聴の際に、どこがコアな部分で、どこが面白いポイントなのか、気づいた点はメモを取るようにしています。将来は自分だけでなく、周りの人の問題も解決に導けるようなゲームクリエイターになることが目標です。



磯村 嶽大 さん
映像学部 映像学科 4回生
愛知県・愛知工業大学名電高校出身

^{*}ゲームジャム: ゲームクリエイターが集まり、短期間でゲームを制作するイベント。

4年間の学び



上記は2025年度のカリキュラムです。・上記の科目は、各ゾーンの代表的な科目を掲載しています。・一部の科目は衣笠キャンパスで開講しています。
 緑色の枠は「理論」系、オレンジ色の枠は「実践」系の科目です。・青色の枠は小集団で行う科目です。映像学部では、4年間を通してきめ細かな小集団教育を行います。
 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。→ 教養科目 P.130

科目についての詳細は
[オンラインシラバス](#) [立命館](#) [検索](#)

外国語の選択

【必修】英語



2025年度 教員・研究テーマ一覧

天野 圭二	ポップカルチャー論、コンテンツ産業史、企業の社会的貢献	斎藤 進也	人文社会情報学、インフォグラフィックス、ゲーム制作	LYONS	オーディオビジュアルパーセプションと表現、マルチモダリティ、京都メディアアート
飯田 和敏	アート（ゲームグラフィックス）、ゲーム制作	斎藤 大幹	メディア表現、コミュニケーションデザイン	Michael	マルチモダリティ、京都メディアアート
板垣 静香	PBLに基づく英語学習、英語教育におけるユニバーサルデザイン、バイリンガリズム	鈴木 岳海	映像人類学、記録映像制作	松陰 信彦	映画サウンドデザイン
井上 明人	ゲームの現象論、ゲームの社会応用	宋 基燦	映像人類学、マイノリティ研究	望月 茂徳	インタラクティブメディア
上田 学	映像学、メディア考古学	竹田 章作	ゲームデザイン、ゲーム制作、ゲームシナリオ	毛利 仁美	図書館情報学、博物館学、デジタルアーカイブ
大島 登志一	人工現実感（バーチャルリアリティ）、複合現実感（ミクストリアリティ）	武田 港	ゲームデザイン、インタラクティブ・デザイン、漫画シナリオ	山口 記弘	映画産業論・京都文化論、キャラクター産業論
尾島 崇	ゲーム音響研究、ゲーム資料の保存と利活用、博物館情報学	竹村 朋子	メディア利用行動	山崎 由佳	CGアニメーション
小川 明子	メディア論、コミュニティ・メディア研究	谷 麻子	映画シナリオ	山本 浩史	映画編集
奥出 成希	ゲームプログラミング	辻野 理花	デジタルメディアコミュニケーション 多文化共生論	渡辺 修司	ゲームデザイン、ゲーミフィケーション、ゲーム制作
亀井 伸幸	映画、広告映像：監督、企画演出、脚本	永田 彰子	メディア論、メディア文化研究	客員教授	
川口 修衛	映像撮影技術	中村 彰憲	国際経営、クリエイティブ産業論、ブランド戦略論	熊切 和嘉	映画監督
北浦 寛之	映画学、メディア研究	福田 一史	図書館情報学、人文情報学	鳥嶋 和彦	編集者
北野 圭介	映像理論、表現文化論	藤岡 幹嗣	映画演出	浜村 弘一	株式会社KADOKAWA デジタルエンタテインメント担当シニアアドバイザー
北原 聰	CGアニメーション	古川 耕平	CG、デジタルアーカイブ	松岡 錠司	映画監督
北村 順生	メディア社会学	朴 真理子	応用言語学、語用論、映画台詞・字幕研究、異文化間コミュニケーション	三島 有紀子	映画監督、映像作家、脚本家
				AKIHITO	Special Effects Make-up Artist

学びの特長

「5つの学びのゾーン」を理解すると、映像学部がもっと見えてくる。

■「5つの学びのゾーン」の特長

映画芸術ゾーン

映画の表現技法およびその関連領域の技能と知識を修得します。具体的には、シナリオ、演出、撮影、編集、録音、制作など、実写映画の制作工程において必要とされる技術、CGアニメーションの創作技術、映画の理論や歴史を学び、映画芸術の創造と理解を目指します。



ゲーム・エンターテインメントゾーン

従来型のエンターテインメント作品から、産業では挑戦し得ない芸術的・実験的作品までを範囲とし、「遊び」を誘導するための知識と技法を学修していくゾーン。遊戯の理論と歴史、難易度工学、世界観設計、シナリオ（ナラティブ）、グラフィックデザイン、プログラミング、ソーシャルメディア構築、ハードウェアの実装を学ぶことができます。



クリエイティブ・テクノロジーゾーン

メディア表現に関わる理論を活用し、メディアアートやバーチャルリアリティなどのテクノロジーに裏打ちされた新しいクリエイティブなメディア表現を創造することを目的とします。学生はクリエイティブなメディア表現の知識やプログラミング技術、映像分析方法などを学び、リサーチとクリエイションを結びつけていくことを目指します。



社会映像ゾーン

クリエイティブ経済のダイナミズムを理解し、国や自治体の文化政策を学びます。さらに、グローバルな視点とローカルな視点の両方から、映像を「文化資源」として新たに捉え直す理論と実践を深く学びます。



映像マネジメントゾーン

映像を通してヒト・モノ・コトを発見し、研究し、社会と関わることを目指すゾーンです。フィールドワークを通じて記録映像などの制作や映像アーカイブの実践に関する技能と知識について学修します。ドキュメンタリー、映像人類学、メディア社会学、デジタルアーカイブなどを学ぶことができます。



きめ細やかな学びのガイド

映像学部では、多様な映像分野を横断しながら学生それぞれの課題意識に応じて自らの学修を円滑にすすめいくことができるよう、振り返りと目標設定を行う演習科目を設置しています。

1回生	学びの基盤を形成 「映像基礎演習」
2回生	5つのゾーンへの展開 「映像学入門演習」
3回生	基礎を応用する学びへ 「映像文化演習I・II（ゼミナール）」
4回生	4年間の学びの集大成 「映像文化演習III・IV（ゼミナール）」 「卒業研究」

クリエイティブ・リーダーシップセミナー

映像関連分野のクリエイター、プロデューサー、経営者などによる講演、キャリア・マネジメント関連講義で構成する授業です。



■「5つの学びのゾーン」をまたぐ豊富なキャリア形成科目

学外映像研修

映像関連会社、映像制作会社、ゲーム関連会社など、多様な企業・団体の現場で業務の一端を体験する授業です。



特殊講義「びわ湖ホール連携講座」

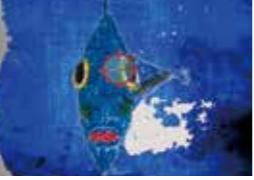
びわ湖ホール内の劇場や舞台裏の見学、プロスタッフによる体験講習を経て、自ら企画した舞台映像美術を制作します。



学び・プログラム

映像学部における5つのゾーンの学びの事例

映像学部では、「映像学入門演習」(2回生)、「映像文化演習(セミナー)」(3回生)(4回生)、「卒業研究」(4回生)などの演習科目を5つのゾーンに設置しており、映像に関わる知識と技術を高めます。以下は学びの具体的な事例です。

映画藝術	映画「搖蕩(ようとう)」 上田 里紗さん、福田 智昭さん		CG実習I 静止画課題「餃子パーティー」 小林 友香さん	
	サンマシーンの脱出 三治 佑太さん		日本語と韓国語でGO! KIM Yejiさん	
クリエイティブ・ノイロティック・ディジタル・アート	Sound Creatures 上田 菜名穂さん		AMI-NOOH: ミクストリアルティを用いたアミノ酸学習教材の研究 南部 良佳さん	
	社会連携プログラム (BitSummit)		映像の記憶想起効果に関する 産学協同研究 上山 千夏さん、長谷川 涼香さん	
社会映像	嵯峨野にいま響けよ 豊場 茉衣子さん		ゲーム要素を用いた1950年代の 用水路での遊びの再現 小濱 佑太さん	

2024年度「JUN × CAREE」出展作品はこちらの二次元コードから確認できます。▶ 

■「JUN × CAREE」(EIZO JUNCTION × キャリアフェア)

「JUN × CAREE」は、映像学部生・研究科生の作品制作・研究の成果を学内外の方々に向けて発表する場です。企業関係者や現場で活躍されているクリエイターの方々をお招きし、学部生・院生との交流をとおして、作品制作・研究活動への意欲やキャリア意識の向上を促す、映像学部・研究科ならではの一大イベントです。

2024年度は10月に大阪いばらきキャンパスで開催し、約200名の方々にご参加いただきました。



卒業生からのメッセージ

多角的視点でプログラマーの枠を超える世界中の人々が楽しめるゲームをつくる。

現在、ゲームプログラマーとして働いています。映像学部に入学を決めた理由は、ゲーム開発に必要な専門技術だけでなく、制作に関する考え方やビジネスとしての視点など、コンテンツ制作全体を概観して学べることに魅力を感じたからです。学生時代に多くのグループワークを経験したことは、仕事におけるコミュニケーションや制作の幅を広げる支えとなっています。学びの中で印象に残っているのは、卒業研究と学会発表です。情報処理学会主催のシンポジウム「Interaction2022」での発表賞の受賞や、「SIGGRAPH Asia」への展示など貴重な機会を得ました。また学内展示会で多くの人に作品を楽しんでもらった経験は、今もゲーム制作の原動力となっています。目標は、プログラマーの枠を超えたゲーム開発です。専門知識を深める一方で、ゲーム開発全体を理解し、新たなことに挑戦していきたいと考えています。



渡辺 龍さん

株式会社カブコン CS 第二開発統括開発四部 ゲームプログラム室
(映像学部 2022年卒業)

大学で多くの映像制作を経験したことが舞台制作の仕事に活きている。

学生時代に劇団四季の舞台「ライオンキング」を観て舞台演出や美術に惹かれ、入団しました。現在は電動の大道具を動かす機構操作員として、舞台公演に携わっています。映像学部に入学を決めた理由は、舞台芸術の表現の幅を広げる方法の一つとして映像に興味を持ったからです。在学中は、立命館映像展のPVや長編映画、社会連携プログラムによるPR映像など多様な映像制作を経験しました。特に特殊講義「びわ湖ホール連携講座」の舞台公演で、舞台映像の制作やアーカイブ映像のディレクションを経験したこと、舞台制作の「裏方」への気持ちが強くなりました。大学で数々の映像制作を通して学び、考えたことが、仕事にも活かされています。これからも演目の制作を通じて、多くの技術を学んでいきたいです。そのために舞台以外の芸術に触れる機会を増やしていきたいと思っています。



岡田 悠子さん

四季株式会社 舞台監督部
(映像学部 2022年卒業)

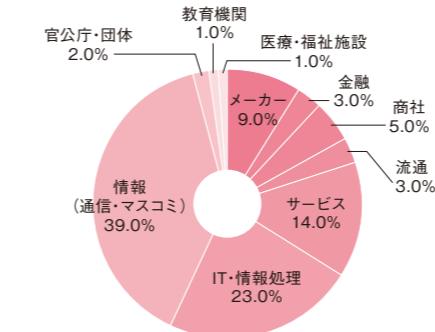
2018年、映像学部入学。立命館映像展のプロモーションビデオや長編映画、ミュージックビデオ、京都市交通局のPR映像など、多様なジャンルの映像制作を経験する。2022年、四季株式会社に劇団四季舞台監督部 舞台監督助手として入団。公演中の電動大道具の操作、舞台セットの設置や解体、新たな演目の仕込みに携わる。

進路・就職状況

社会のあらゆる分野で「プロデュース能力」を生かす。

学部で培った専門知識や経験は現場で生きる実践力。
映像関係やゲーム業界をはじめ、社会のさまざまな分野で卒業生が活躍しています。

【2023年度卒業生 業種別進路決定状況】



【2023年度卒業生 進路・就職先一例】

アクセンチュア(株)	(株)中電シーティーアイ	(株)ネイキッド
(株)アミューズ	(株)円谷プロダクション	パナソニックホールディングス(株)
エイベックス・ピクチャーズ(株)	(株)TBSテレビ	(株)バンダイ
(株)ADKホールディングス	(株)TYO	(株)ビジブル
NHK(日本放送協会)	テレビ愛知(株)	(株)プロシップ
オリックス生命保険(株)	デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社	(株)MAPPA
(株)Donuts	ヤマハ(株)	丸紅ITソリューションズ(株)
Joshin(上新電機(株))	電通九州	ユーフォーテーブル有限会社
信金中央金庫	電通ライブ	公益財団法人横浜市芸術文化振興財團
(株)スピード	東映(株)	
(株)セガ	(株)東北新社	
セコム(株)	(株)日テレアックス	
(株)セブテニ	(株)ニトリ	

◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。



情報理工学部

■ 情報理工学科

システムアーキテクトコース
セキュリティ・ネットワークコース
社会システムデザインコース
実世界情報コース

メディア情報コース
知能情報コース
Information Systems Science and Engineering Course 英語・4月



取得学位	学士(工学)
アドミッション・ポリシー	<p>情報理工学部は、情報科学技術の基礎から応用までの幅広い領域において、中核となる知識や技術から最先端の内容に及ぶ教育・研究を行います。コンピュータを利用して、新しい問題に対して実践的かつ創造的な解決策を導くことのできる経験と知識を備え、情報技術分野の組織の一員として中核的な役割を果たすとともに、多様な組織のリーダーとしてグローバルに活躍できる技術者・研究者を育成することを目指します。このような人材を育成するために、本学部では下記のような人物が入学することを期待しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 論理的な思考を行うことができ、情報科学を学ぶために必要な数学や自然科学に関する基礎知識を備えている 日本語で学ぶ6つのコースについては、日本語の文章を作成および理解する十分な能力と、英語に関する基礎学力を備えている 英語で学ぶ1つのコースについては、英語の文章を作成および理解する十分な能力を備えている 大学での幅広い学びを理解するための基礎的な教養を備えている 情報技術に関わる学問分野に、幅広く、強い関心・興味を持っている 基礎的なプログラミングを学習する強い意欲を持っている 専門的な知識・技術、正しい倫理観、リーダーシップを獲得することに強い意欲を持っている 問題を発見・解決する能力、コミュニケーション能力の重要性を認識し、その向上に励む意欲を持っている

英語・4月 授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得でき、4月入学ができる学科・専攻・コース

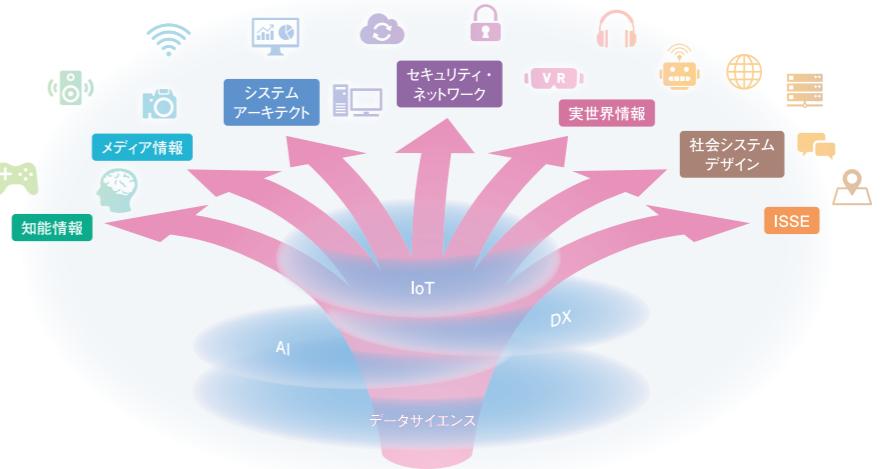
目指すのは、新たな未来の創造。

「情報」の力で社会をより便利に、より楽しく、より安全に

情報理工学部は、情報通信技術（ICT）に関わる広範な領域を網羅する情報系学部として、2004年4月にびわこ・くさつキャンパス（BKC）に設置され、最先端のICTを学べる学部として国内外から注目を集めています。また、2017年4月より1学科7コース体制に改組し、入学後の1回生春学期終了時に、秋学期から所属するコースを選択する制度も導入しました※1。授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得できるISSE（Information Systems Science and Engineering）コースも開設しており、世界で活躍できる国際性を備えた次代を担う技術者・研究者を育てています。

そして、2024年4月より大阪いばらきキャンパス（OIC）へ移転し、各コースにおける高い専門性を軸として幅広い情報技術分野における知識の修得を目指した「ユニット」を導入しました※2。有益な知見をデータから引き出すデータサイエンス、コンピュータが自ら判断を行うAI、ビジネスや組織の活動・内容・仕組みをデジタル技術により再構築するDX、さまざまな機器をインターネットに接続するためのIoT等、新たな未来社会に必要な知識を習得し、さまざまな専門分野に挑戦することで、世界にインパクトを与える研究に取り組みます。

※1 ISSEコースのみ入学時にコースを決定します。※2 ISSEコースでは2028年度よりユニットを導入予定です。



STUDENT'S VOICE

AIを取り口に興味の幅が広がり大学院へ。IT業界のより専門的な分野で活躍したい。

AI（人工知能）に興味があり、情報系の分野を幅広く学べると感じて立命館大学情報理工学部を志望しました。また、2024年度から情報理工学部がOICに移転し、最先端設備が導入された新棟で大学生活を送ることもほかにはない魅力でした。入学前は、情報技術に関する知識をほとんど持っていましたが、学部で数学や情報理論、プログラミングといった情報分野の基礎を学ぶことで、AIのほか、知能情報学実験や心理物理学など、興味のある専門的な内容もスムーズに習得できました。これらを学んでいく中で、単に受け身で知識を得るだけではなく、自ら考へて学ぶ姿勢も身についてきました。また、私たちを取り巻く技術の仕組みや概念を知ることによって、つくる側の視点でも物事を捉えられるようになったように思います。

現在は、円の見かけの大きさを変えるエビングハウス錯視がダーツ投擲に及ぼす影響について研究しています。AIそのものではなく視覚分野を研究テーマに選んだのは、人間が自然に行っていることをコンピュータで実現するAIの理解を深めるために、まず人間の仕組みや働きを理解する必要があると考えたからです。中でも興味を持ったのは目の錯覚と運動制御の関係です。具体的には、ダーツボード中心のブルの見かけの大きさとダーツの精度の関係について調べています。目の仕組みを明らかにするだけでなく、的を狙うスポーツの練習に目の錯覚を活用できるのではないかと期待しています。

学部での研究を通じて得た知識や経験を土台として、研究内容をさらに深めるため大学院へ進学しました。4回生のうちに大学院の授業を受講できる早期履修制度を利用し、発展的な内容に早くから触れることで、ITや視覚に関する知見を深めることができました。将来は、今後ますます需要が拡大するであろうIT業界の中でも視覚に関わる分野で活躍したいと考えています。



野田 那都貴 さん

情報理工学研究科 情報理工学専攻
人間情報科学コース 博士課程前期課程 1回生
岐阜県立岐阜北高校出身

4年間の学び

- [特長1] 1回生では情報科学分野全般の基礎を学修し、春学期終了時に各自の興味や将来のビジョンを考慮してコースを選択します。
- [特長2] 1回生秋学期から配属されたコースで専門分野を学びます。
- [特長3] 3回生春学期に所属する研究室を決定し、秋学期から1年半をかけて卒業研究に取り組みます。
- [特長4] 各自の目的意識に合わせてユニットを選択し、コース横断的な学びを深めることができます。

上記の学びを通じて、専門分野に関する深い知識や、自ら問題を発見し解決できる実力が身に付き、大学院へ進学した場合も、より深く高度なレベルからスタートすることが可能になります。

7つのコース

時代の要請に合わせた各専門領域を深く学ぶ日本語基準の6つのコースに加え、さまざまな分野の知識を横断的に活用してグローバルな環境で問題解決を実践する英語基準のコースを設置しています。情報分野を取り巻く新たな社会状況に対応できる人材の育成を目指します。

※カッコ内はコース名称の略称です。

システムアーキテクトコース (SA)

今まで誰も作ったことのない情報システムを構築できる「建築家(アーキテクト)」を目指し、ハード、ソフトの基礎的な技術から、ビッグデータ解析、IoTまで情報システム技術全般を学び、システム開発・運用のための実践的能力を獲得します。



セキュリティ・ネットワークコース (SN)

現実世界と仮想世界が高度に融合する現代社会では、その礎となる情報インフラの重要性は日々高まっています。本コースでは、情報インフラを構成するセキュリティ、ソフトウェア、ネットワークの知識や、安心・安全な情報システムの構築技術が身に付きます。



社会システムデザインコース (SSD)

膨大なデータの分析とモデル化を行う技術、具体的な社会システム・サービスを設計・実装する技術、人々と社会・システムを高度に交流させる技術を学び、人間とICTが共存する未来の社会・システムを創造・実現する実践的能力を身に付けます。



4つのコース横断ユニット

各コースにおける高い専門性を軸として幅広い情報技術分野における知識の修得を目指した「ユニット」を導入しています。前述のコース選択にかかわらず、右記4つのユニットを自由に選択し、コース横断的に学びを深めることができます。各ユニットの科目群を履修し修了要件を満たすことで、認定証が授与されます。

※ユニットの選択と履修は卒業要件ではありません。

※ISSEコースでは2028年度よりユニットを導入予定です。

※ユニットの種類や履修科目は今後変更となる場合があります。

実世界情報コース (実世界)

ICTを通じて人間と外界を結ぶヒューマンインターフェース、臨場感の高い仮想世界を体感するバーチャルリアリティ技術やミクストリアリティ技術、身の周りのモノをネットワークにつなぐIoT、機械システムの知能化を実現するロボット技術を学びます。



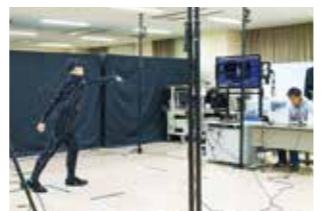
メディア情報コース (メディア)

画像や音などの多様なメディアデータを活用する情報処理手法を学べます。特に、CG、情報可視化、VR/AR、画像処理・認識、音声認識・合成、音響情報処理、信号処理などの分野で最先端AI技術も駆使した研究に携わることができます。



知能情報コース (知能)

自然現象や社会現象の計測データの解析をはじめ、数理モデル、シミュレーションやAIなどを運用する総合的な知識と技術を体系的に学びます。また、生体情報などの実データの取得と情報の抽出を通じ、知能情報システムを工学的に実現する能力を修得します。



Information Systems Science and Engineering Course (ISSE)

情報工学分野に精通し、多種多様なコミュニティにおけるチームの一員として、グローバルで活躍できる人材を育成。授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得でき、学生が自ら問題を発見し解決していく課題解決型学習が根幹となっているのが主な特長です。



回生	1回生	2回生	3・4回生			
セメスター	第1セメスター(春)	第2セメスター(秋)	第3セメスター(春)	第4セメスター(秋)	第5・7セメスター(春)	第6・8セメスター(秋)
学びの流れ	共通カリキュラムで情報科学技術の基礎から学び、1回生秋学期にコース配属*			コース専門科目で専門分野の知識を深める		
基礎専門科目	数学1 数学3 数学演習1	数学2 数学4 数学演習2	Introduction to Differential Equations Introduction to Probability and Statistics 多变量解析	Engineering Mathematics 4 Statistical Analysis, Simulation, and Modeling 離散数学 数値解析	Optimization and Control Theory Applied Informatics 1	Applied Informatics 2
共通専門科目	情報理工基礎演習 情報理論 情報倫理と情報技術 計算機科学入門 Introduction to Information Systems Engineering Professional Ethics Introduction to Experimentation	論理回路 Experimental Design	ソフトウェア工学 コンピュータネットワーク デジタル信号処理 計算機構成論	データベース オペレーティングシステム ネットワークセキュリティ コンピュータグラフィックス 人工知能		
グローバルIT科目			Information Science in Action	Presentation Plus 401 Writing for Publication 402		
卒業研究科目					卒業研究2	卒業研究3
コースごとに固有の演習科目、実験科目がほぼ全セメスターにあり、さまざまなテーマで演習・実験を行います						
情報理工学部	システムアーキテクトコース セキュリティ・ネットワークコース 社会システムデザインコース 実世界情報コース メディア情報コース 知能情報コース Information Systems Science and Engineering Course	システムアーキテクト セキュリティ・ネットワーク 社会システムデザイン 実世界情報 メディア情報 知能情報 キャリア養成プログラム グローバルITプログラム 情報系資格取得プログラム MOT入門プログラム	プログラミング演習1 システムアーキテクト演習 プログラミング言語 電気電子回路 プログラミング演習1 プログラミング言語 電気電子回路 セキュリティ・ネットワーク概論 プログラミング演習1 プログラミング言語 社会システムデザイン概論 実世界情報演習1 プログラミング演習1 プログラミング言語 電気電子回路 プログラミング演習1 データ構造とアルゴリズム データ構造とアルゴリズム データ構造とアルゴリズム 実世界情報演習1 プログラミング演習2 セキュリティ・ネットワーク開発演習 セキュリティ・ネットワーク概論 プログラミング演習1 プログラミング言語 社会システムデザイン創成1 データ構造とアルゴリズム オブジェクト指向論 実世界情報演習1 プログラミング演習2 セキュリティ・ネットワーク学 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報演習1 プログラミング演習1 データ構造とアルゴリズム オブジェクト指向論 プログラミング演習2 データ構造とアルゴリズム データ構造とアルゴリズム データ構造とアルゴリズム 実世界情報実験1 プログラミング演習1 プログラミング言語 電気電子回路 プログラミング演習1 データ構造とアルゴリズム データ構造とアルゴリズム データ構造とアルゴリズム 実世界情報実験1 プログラミング演習2 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験1 プログラミング演習1 データ構造とアルゴリズム オブジェクト指向論 実世界情報実験2 実世界情報演習2 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験3 実世界情報演習3 機械学習 セキュリティコンピューティング セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験4 実世界情報演習4 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験5 実世界情報演習5 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験6 実世界情報演習6 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験7 実世界情報演習7 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験8 実世界情報演習8 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験9 実世界情報演習9 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験10 実世界情報演習10 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験11 実世界情報演習11 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験12 実世界情報演習12 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験13 実世界情報演習13 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験14 実世界情報演習14 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験15 実世界情報演習15 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験16 実世界情報演習16 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験17 実世界情報演習17 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験18 実世界情報演習18 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験19 実世界情報演習19 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験20 実世界情報演習20 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験21 実世界情報演習21 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験22 実世界情報演習22 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験23 実世界情報演習23 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験24 実世界情報演習24 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験25 実世界情報演習25 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験26 実世界情報演習26 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験27 実世界情報演習27 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験28 実世界情報演習28 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験29 実世界情報演習29 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験30 実世界情報演習30 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験31 実世界情報演習31 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験32 実世界情報演習32 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験33 実世界情報演習33 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験34 実世界情報演習34 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験35 実世界情報演習35 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験36 実世界情報演習36 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験37 実世界情報演習37 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験38 実世界情報演習38 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験39 実世界情報演習39 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験40 実世界情報演習40 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験41 実世界情報演習41 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験42 実世界情報演習42 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験43 実世界情報演習43 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験44 実世界情報演習44 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験45 実世界情報演習45 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験46 実世界情報演習46 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験47 実世界情報演習47 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験48 実世界情報演習48 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験49 実世界情報演習49 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験50 実世界情報演習50 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験51 実世界情報演習51 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験52 実世界情報演習52 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験53 実世界情報演習53 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験54 実世界情報演習54 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験55 実世界情報演習55 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験56 実世界情報演習56 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験57 実世界情報演習57 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験58 実世界情報演習58 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験59 実世界情報演習59 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験60 実世界情報演習60 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験61 実世界情報演習61 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験62 実世界情報演習62 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験63 実世界情報演習63 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験64 実世界情報演習64 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験65 実世界情報演習65 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験66 実世界情報演習66 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験67 実世界情報演習67 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験68 実世界情報演習68 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験69 実世界情報演習69 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験70 実世界情報演習70 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験71 実世界情報演習71 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験72 実世界情報演習72 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験73 実世界情報演習73 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験74 実世界情報演習74 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験75 実世界情報演習75 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験76 実世界情報演習76 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験77 実世界情報演習77 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験78 実世界情報演習78 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験79 実世界情報演習79 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験80 実世界情報演習80 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリティ・ネットワーク概論 実世界情報実験81 実世界情報演習81 機械学習 セキュリティ・ネットワーク実験 セキュリ			

**「ものづくり」をテーマに学び
知識の集積だけではない実践力を養う。**

情報理工学に関わるさまざまな最先端の研究を行っています。知識を集積するだけではなく、活用し、実際に作って検証するというもののづくりの実践を通じ、技術者として必要なIT技術の適格性を見極める力やシステム開発能力を養います。主体性・創造性を伸ばすことに加え、企画・管理・運営能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目指します。

KEYWORD IoT
関連コース SA SN 実世界 ISSE

研究例 人とモノ、モノとモノをつなげて作る革新的システム

IoTとは、現実世界のあらゆるモノを主に無線ネットワークを用いてインターネットにつなぎ、互いに情報をやり取りする技術の総称です。IoTは、人とモノ、モノとモノを相互につなげることで、これまで想像できなかったような革新的なシステムを実現し新しい未来を切り開きます。



KEYWORD ハードウェア設計
関連コース SA SN 実世界

研究例 将来の量子計算機の設計手法の開発

「量子計算機」は、現在のコンピュータでは現実的な時間では解けないような問題の一部を高速に解けると期待されています。ただ、量子計算機の設計手法はまだ完全に確立されていないため、新しい設計手法の開発を目指して研究を行っています。



KEYWORD 自然言語処理
関連コース SSD 知能 ISSE

研究例 過去の知識を未来につなぐ自然言語処理

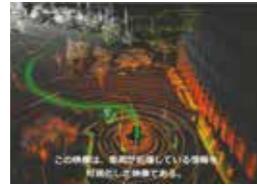
人類の知識の多くは言葉（自然言語）で記述されています。近年注目されている大規模言語モデルは、過去に蓄積された膨大な知識をまだ十分に活用できていません。現代だけでなく過去の情報も活用することで、新たな発見につながる自然言語処理技術の実現を目指しています。



KEYWORD システムソフトウェア
関連コース SA SN ISSE

研究例 自動運転のための実時間システム

自動運転ではセンサーから入ってくるその場、その場での実世界情報を処理して状況を認識して、それを反映した運転をしています。そのため、リアルタイム性を守り、センサーやGPUなどのハードウェアを効率的に稼動できるようにROS (Robot OS) の研究を行っています。



KEYWORD インタラクション
関連コース SA SSD 実世界 メディア 知能 ISSE

研究例 センサを用いて異なるメディアの情報の組み合わせを発見

人の嗜好情報を視線計測装置や活動量計などのセンサを用いて獲得し、動画、画像、音楽、テキストなど異なる情報メディアの適した組合せを発見する技術を研究しています。専門知識がなくても音楽に合う照明の色を見たり、食事に合う音楽を推薦することができます。



[2025年度 教員・研究テーマ一覧]

システムアーキテクトコース (SA)	
越智 裕之	FPGAと再構成可能アーキテクチャ、超低消費電力システム、集積回路設計自動化のためのアルゴリズムとデータ構造
島川 博光	データ工学、データサイエンス、ユーモラス工学、教育工学
船野 太一	認知情報学、ヒューマンロボットインタラクション、協調作業支援
高田 秀志	協調学習・協調作業支援・分散システム、ネットワークサービス、データベース
西尾 信彦	IoT、知的環境、組込みシステム、自動運転システム、位置情報システム
双見 京介	人間拡張工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、ワープラブル、ユビキタス、行動変容
横原 純里奈	ソフトウェア工学、プログラミング教育、行動分析、教育データマイニング
丸山 勝久	ソフトウェア工学、ソフトウェア開発環境、プログラミング言語
村尾 和哉	ウェアラブル、ユビキタス、センシング、行動認識、生体情報
山下 茂	次世代計算方式、量子コンピュータ、量子回路設計、バイオチップ、Stochastic Computing
吉田 則裕	ソフトウェア工学、IoT、セキュリティ
魯 希琴	プログラミング学習支援システム、ソフトウェア工学
セキュリティ・ネットワークコース (SN)	
鴨山 空道	メモリシステム、近似計算、仮想マシン、オペレーティングシステム、メモリセキュリティ
上原 哲太郎	システムセキュリティ、システム管理、デジタルフォレンジック
上山 審昭	コンピュータネットワーク、キャッシュ配信、ネットワークセキュリティ、IoT
西村 俊和	計算機介会話システム、インターネットワーキング、移動体通信ネットワーク、機械学習
野口 拓	アドホックネットワーク、IoT、センサネットワーク、コネクティッドカー
野島 良	暗号、耐量子計算機暗号、秘密計算、機械学習
宮地 秀至	安全な暗号方式の構成、ブロックチェーンシステムの構成
毛利 公一	オペレーティングシステム、仮想化技術、コンピュータセキュリティ、組込みシステム
山本 寛	IoT、センサネットワーク、ブロックチェーン、機械学習、組込みシステム
吉田 政望	アドホックネットワーク、IoT、センサネットワーク、ネットワークコーディング
社会システムデザインコース (SSD)	
泉 朋子	認知情報学、ヒューマンコンピュータインタラクション、思い出工学、感性工学
來村 徳信	知能工学、知能共創、オントロジー、人工知能
西原 陽子	ヒューマンコンピュータインタラクション、自然言語処理、人工知能、コミック工学

服部 宏充	マルチエージェントシミュレーション、社会システムデザイン、人工知能、議論・対話支援
原田 史子	情報検索・推薦、センサデータ分析、人工知能
福本 淳一	自然言語処理、情報抽出、質問応答、対話
前田 亮太郎	デジタル図書館、情報検索、多言語情報処理、人文情報学
村上 陽平	サービスコンピューティング、コミュニケーション支援、人工知能、デザイン学
Monheera PITUXCOOSUVARN	コンピュータ支援協調作業、異文化コラボレーション、協調学習
单 駿杰	人工知能応用、ヒューマンコンピュータインタラクション、自然言語処理
吉添 衡	議論・対話支援、マルチエージェントシミュレーション、自然言語処理、人工知能
世界情報コース (実世界)	
安藤 順人	メカトロニクス、柔軟ロボット学、触覚テクノロジー、ファブリケーション
木村 朝子	実世界指向インターフェース、バーチャルリアリティ、複合現実感
柴田 史久	モバイルコンピューティング、複合現実感、マンマシンインターフェース
島田 伸敬	知能ロボティクス、コンピュータタブレット、空間知能化、機械学習、ヒューマンコンピュータインタラクション
高橋 治輝	ヒューマンコンピュータインタラクション、ディジタルファブリケーション
中村 文彦	ウェアラブルコンピューティング、ヒューマンインターフェース、表情認識、人間拡張
野間 春生	バーチャルリアリティ、触覚インターフェース
藤井 康之	水上ロボット、自律移動ロボット
細田 佑也	音声強調、音声認識、画像解析、画像強調
松村 耕平	ヒューマンコンピュータインタラクション、ヒューマンロボットインターフェース
満田 隆	ソフトロボティクス、認知心理学
森田 壽里絵	バーチャルリアリティ、知覚情報処理、VR心理学
李 周浩	知能ロボット、空間知能化、人工知能、ヒューマンインターフェース
メディア情報コース (メディア)	
柳田 貴弘	コンピュータビジュアル、画像セシング、物理ベースビジュアル
耿 駿庭	音響信号処理、ビンズボットオーディオ
高島 遼一	音声認識、音声合成、音声信号処理

KEYWORD IoT
関連コース SA SN 実世界 ISSE

研究例 人とモノ、モノとモノをつなげて作る革新的システム

IoTとは、現実世界のあらゆるモノを主に無線ネットワークを用いてインターネットにつなぎ、互いに情報をやり取りする技術の総称です。IoTは、人とモノ、モノとモノを相互につなげることで、これまで想像できなかったような革新的なシステムを実現し新しい未来を切り開きます。



KEYWORD ロボティクス
関連コース 実世界 知能 ISSE

研究例 AI「基盤モデル」の「常識」でロボットが作業する

大規模な文章情報から作られるAI「基盤モデル」は言葉や常識に加えて画像を理解できます。ロボットの実行できる動作を列挙し、目前の状況とゴール状態を指示すると、必要な動作の組み合わせを推論し、ロボットが実際にシーンの物体を操作するところで期待した作業を達成します。



KEYWORD 音情報処理
関連コース メディア 知能 ISSE

研究例 イマーシブオーディオが奏でる超臨場音空間の構築

現実の音空間を超える超臨場音空間（イマーシブ音空間）と心に響く音源（ハイレゾリューション音源）について研究しています。超臨場音空間と最高品質の音源を同時に追求することで、人間の五感（特に聴覚と触覚）を刺激し、末路の没入感や高臨場感を体感できます。



KEYWORD VR/AR/MR
関連コース SA SSD 実世界 メディア 知能 ISSE

研究例 ネットショッピングが消費者に与える影響を探る

ネットショッピングのWebページには、商品を指で触れて回転させることができるものがあります。VRが普及すると、商品がより立体的に見え、触った感覚も得られるようになるかもしれません。VRを用いた商品への接触が消費者に与える心理的影響を研究しています。



KEYWORD 人工知能
関連コース SA SN SSD 実世界 メディア 知能 ISSE

研究例 医療・健康に貢献するAI for Health

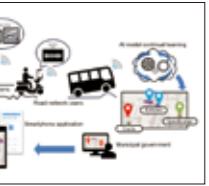
機械学習を用いるAI for Healthでは、医療データをもとに、診断の支援、医学的知見の拡大、健康格差の解消に取り組んでいます。生成モデルを構築し、患者の負担を減らす高精度マルチフェーズCT画像の生成などを通じて、疾患の早期発見や高度医療の普及につなげます。



KEYWORD データサイエンス / ビッグデータ
関連コース SA SN SSD 知能 ISSE

研究例 道路状況監視システムの構築

一般ユーザーが保有するスマートフォンのセンサーやウェアラブル機器などのデバイスを使って、都市環境の情報を収集する技術である参加型センシングとAIの継続学習を統合し、クラウド上に道路状況をモニタリングする環境の研究を行っています。



学びの特色

充実の大学院

情報理工学研究科は、情報理工学部の教育と研究の基盤の上に「ICTの最先端領域における教育と研究を展開」しています。情報処理、ネットワークおよびシステムの構築といった基盤技術、情報メディアや人、知能に及ぶ応用技術、情報技術の最先端領域に至る理論と技術・倫理に関する知識などに加え、創造的発見能力を兼ね備えた国際的に活躍できる研究者、高度専門職業人を養成しています。教員規模や研究実績は全国トップクラスを誇り、修了生の多くが国内外でグローバルICT人材として活躍しています。



国際性豊かな学び

ICTの分野で活躍するためには、専門性に加えて英語運用能力やグローバル感覚が不可欠です。情報理工学部では、独自でアメリカ、オーストラリア、インド、中国などの大学・研究機関と協定を結び、海外IT研修プログラムや海外インターンシップ・プログラムを実施しています*。また、英語基準コースであるInformation Systems Science and Engineering Course (ISSE) や、中国の大連理工大学との共同学部では、アジアを中心にさまざまな国・地域から留学生を受け入れています。国際性豊かな学びを通じて世界に通用する技術者の育成に取り組んでいます。

*プログラムの内容は年度によって変更・中止となる場合があります。



多様な学びをサポートする学習施設・環境

リアルとバーチャルを融合した情報理工学部の新しい学びをサポートする環境として、「コネクティッドラーニングコモンズ(CLC)」を開設しています。CLCは、従来のリアルな学びをサポートするラーニングコモンズ機能を拡張し、メディアを活用した新しい授業などバーチャルな学びにも積極的に活用可能な次世代学習環境です。また、学生の学びや研究成果を広く発信・社会還元する目的で「SP LAB」も開設しています。このラボでは、学生の日々の発信をリアルとバーチャルの両面からサポートします。



*画像はイメージで、実際とは異なる場合があります。
*「コネクティッドラーニングコモンズ」「SP LAB」は全学共用の施設です。

課外活動での学び

情報理工学部の公認課外活動団体「PJ(プロジェクト)連合」は、Ri-one(人工知能開発)、RiG++(ゲーム開発)、RiPPro(競技プログラミング)、RIST(セキュリティ)などさまざまな分野で活動する4団体により構成されています。情報系の学生として日々新しい技術、知識に挑戦し、成長を目指します。Ri-oneでは、自律移動型ロボットの世界的な競技大会RoboCupにて上位入賞を果たすなどの華々しい活動成果もあげています。連合には、約300名の情報理工学部生が在籍し、常に活発な活動が行われています。



卒業生からのメッセージ

大学で未知の世界に挑戦した経験が心の支え。
デジタル技術で社会課題の解決に貢献したい。

大学で学んだVRの知識を活かしてコンテンツ開発に携わりたいと考え、TOPPAN株式会社に就職しました。よりよい社会の実現や社会課題の解決に向け、デジタル技術を使ったビジネスの種を探しています。最近、ジオラマを使うことで誰もが直感的に扱えるVRインターフェースの試作品を開発しています。大学で力を入れたのは、VR空間上の錯覚現象に関する研究です。多くの実験参加者の協力の下で研究を進めるために試行錯誤を重ねた経験は、ユーザー目線で事業の種づくりを行なう今の業務に活かされています。自分のアイデアをチームメンバーとブラッシュアップする過程も研究室で経験。未知の世界に挑戦した経験は仕事の上でも心の支えになっています。発展するデジタル技術を誰もが体験できるコンテンツに落とし込み、特に地方が抱える社会課題の解決に貢献したいと考えています。

TOPPAN



松田 あゆみ さん

TOPPANデジタル株式会社 技術戦略センター 企画チーム
(情報理工学研究科 博士課程前期課程 情報理工学専攻 人間情報科学コース
2021年修了、情報理工学部 メディア情報学科 2019年卒業)

ビジネスの視点で勉学に取り組んだことが
コンサルタントとしての現在に活きている。

大学・大学院を通して、防災やマーケティングでのデータの利活用を目的として、商業施設で収集したデータの分析・可視化手法を研究しました。研究では、総務省のプロジェクトで企業との共同研究に参画したほか、海外での研究発表も経験しました。ITを手段としながら社会や企業の課題を解決する視点で勉学や研究に取り組んだことが、コンサルタントとしての現在に活きています。大学や前職で培った能力を活かし、企業が抱える難易度の高い経営課題の解決に携わることで、日本企業の成長に貢献したいと考え、PwCコンサルティング合同会社に入社しました。現在は、大手企業の顧客に対し、デジタル戦略の策定や新規事業アイデアの創出、事業化支援などを行っています。今後も経営に関する知識・経験を増やし、将来は地元・愛媛県の活性化、ひいては社会課題の解決に貢献したいと考えています。



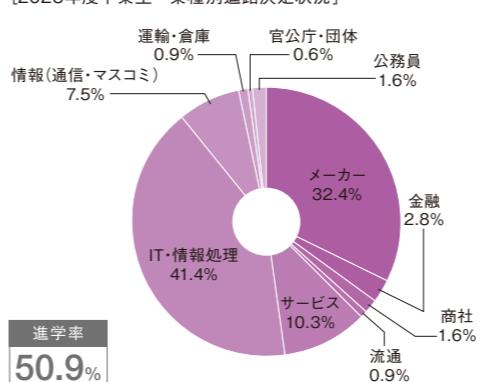
福崎 雄生 さん

PwCコンサルティング合同会社 Technology & Digital Consulting部
Technology Advisory Services
(情報理工学研究科 博士課程前期課程 情報理工学専攻 計算機科学コース
2015年修了、情報理工学部 情報システム学科 2013年卒業)

2009年、理工学部入学。2010年、情報理工学部に転籍。3回生の時、海外IT研修プログラムで短期留学するなど英語力を磨く。2013年、情報理工学研究科に進学。2015年に博士課程前期課程を修了し、株式会社NTTドコモに入社。2021年5月、PwCコンサルティング合同会社に入社。コンサルタントとして企業の経営課題の解決をサポートする。

専門知識を生かして、幅広い分野・企業で情報化社会の未来を担う。
多くの卒業生が、身に付けた高度な情報技術の知識やマネジメント能力、プレゼンテーション能力を、社会とつながりの深いさまざまな分野で生かしています。

2023年度卒業生 業種別進路決定状況



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。◎円グラフには研究科を含む。◎進学率=〔進学者/(就職者+進学者)〕。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

2023年度卒業生・大学院修了生 進路・就職先一例

(50音順)
任天堂(株)
(株)野村総合研究所(NRI)
(株)博報堂
パナソニックホールディングス(株)
東日本電信電話(株)
富士通(株)
本田技研工業(株)
マツダ(株)
日本製鉄(株)
日本電気(株)(NEC)
ニデック(株)
日本アイ・ビー・エム(株)
日本テレビ放送網(株)
国家公務員一般職(警察庁)
国家公務員総合職(総務省)
地方公務員(上級職)